

生活クラブ生活協同組合 × 公益財団法人かながわ生き生き市民基金

生活クラブ ソーシャルインクルーシブ助成

第2期

助成団体紹介



公益財団法人

かながわ生き生き市民基金

Kanagawa Lively Citizens Fund

目 次

公益財団法人 かながわ生き生き市民基金とは	4
生活クラブ・ソーシャルインクルージョン助成について・講評	5～6

【新型コロナ対応緊急応援助成 助成団体】

<子ども食堂・地域食堂、フードパントリー>

木村亭	7
たすけあい	7
特定非営利活動法人 RCB 大口夢	8
ぱくぱく食堂	8
子育ての輪 Lei	9
幸町こども食堂おいしいね	9
駒岡 丘の上こども食堂	10
こひつじ食堂	10
NPO 法人 メダカのお弁当	11
フードパントリーえんむすび	11
いとしのエリーズ	12
ゆがわらおたすけ隊	12
一般社団法人かながわ地域デザイン協会	13
NPO 法人さくらの森・親子サポートネット	13
NPO 法人てらこや食堂ラッキーズ	14
川崎朝鮮初級学校 オモニ会	14
地域福祉を考える会アゲイン	15
和 KAZU こども食堂	15
木月こどもキッチン	16
にのみやこども食堂便・みんなのとまり木	16
チームやどりぎ	17
NPO 法人地域福祉を考える会	17
NPO 法人ハレルヤ	18
EJ3	18
こども食堂プロジェクト@やまと	19
ドリームセンター	19
「あいおい」みんなの食堂	20
満福うえのまち食堂	20
あさみぞみんなのコミュニティ	21
フードコミュニティ	21
みんなの居場所ようこうだいパブリカ	22
一般財団法人平塚 YWCA	22
医療生協かながわ瞳班	23

寄付文化の拡がりに皆様のご協力を ～市民基金を支える寄付方法～

<フードバンク>

NPO 法人ブラジル solidariorio 横浜	24
NPO 法人神奈川フードバンク・プラス	24
NPO 法人サテラ	25
フードバンクあつぎ	25
たかつフードバンクチーム	26
CoCoLo の会	26

<学習支援、子育て支援、居場所など>

子ども学習支援グループ須賀の寺子屋	27
みんなの居場所ポプケ	27
NPO 法人アートキャラバン	28
こもれば塾	28
親と子の寺子屋ふれあい自遊塾	29
ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト	29
つばき学習会	30
ことばすけっと	30
港北ユーステーブル	31
特定非営利活動法人ぜんしん	31
みんなの居場所・れいんぼ～かふえ	32
青少年育成支援の会	32
子どもひろば「みらい」	33
アクティヴ・ママ	33
(特非) ワーカーズ・コレクティブメロディー	34
タンシルキッズクラブ	34
ことさんち	35
学び場「ここから」	35
NPO 法人しえんのまなび舎	36
特定非営利活動法人まちのかぜ	36
NPO 法人ぐるーぷ・ちえのわ	37
NPO 法人育ち合い広場・てとてとて	37
NPO 法人パオパオの木	38
瀬谷第四地区社会福祉協議会	38
川崎朝鮮初級学校 アボジ会	39
子どもの育ち応援団	39

<相談事業、高齢者・障がい者支援、被災地支援など>

寄合所オレンジカフェもりや亭	40
特定非営利活動法人ひだまりの森	40
特定非営利活動法人 FunPlace39	41
かながわ県医療的ケア児者家族会～つなぐ～	41
笑ん座カフェ	42
特定非営利活動法人鎌倉はッピーくらぶ	42
特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブ円	43
ガーゼ帽子を縫う会	43
Café de FUKUSHIMA	44
NPO 法人スペースナナ	44
ひつじの会	45
特定非営利活動法人DV対策センター	45
NPO 法人ごちゃまぜ	46
NPO 法人 まんま	46
神奈川県中途失聴・難聴者協会	47
つながるフェス実行委員会	47

公益財団法人 かながわ生き活き市民基金とは・・・

◆ 成り立ち

食料・環境・福祉の分野での問題解決を、市民参加型ですすめてきた生活クラブ生活協同組合（1971 年創立）は、90 年代初頭から、市民が時間・知恵・労力・いくばくかのお金を出し合って当事者となる参加型福祉運動を実践してきました。その担い手は主にワーカーズ・コレクティブという働き方を行う女性たちでした。

1990 年代当時、これら女性たちの意志ある社会貢献事業に資金を貸す金融機関が無いため、自前の財源による市民バンク（「女性・市民コミュニティバンク」の前身）をつくり、1998 年から市民事業への融資を始めました。

生活クラブ生協は 2003 年に組合員に呼びかけて、福祉たすけあいに関わる市民の福祉活動・非営利の市民事業の基盤造成・活動支援を行うための組織「生活クラブ福祉たすけあい基金」を設立しました。そして「生活クラブ福祉たすけあい基金」の 10 年間の助成活動の実践を経て、2013 年にはこの事業を地域社会の中に押し出し、「公益財団法人かながわ生き活き市民基金」を設立しました。

◆ ミッション

<投資して利潤を稼ぐことが経済>という考えが現代社会に蔓延しています。つまるところ、人々の社会生活は「経済成長」に付き従うべきだという主張につながります。しかし一方で、豊かな生活をつくるのが経済の目的で、お金はそのための手段であるという考え方があります。人と人との関係の中に「温かいお金」を循環させようという主張です。

私たちの社会は、格差・貧困が野放図にすすみ、個人の権利や尊厳が、労働・教育・環境・平等など生活の中心分野で損なわれつつあります。女性や若者、こどもや障がいを持つ人が生きにくい社会になっています。

かながわ生き活き市民基金は、ひとりでは支えきれない地域社会の課題の解決を、お互い様から始め、更に相互扶助に留めず、人・団体・活動を、お金や情報の循環でつなぎ、市民が持つ知恵・労力・時間・いくばくかのお金などの社会資源を拠出し合い、市民が共に力を合わせ、自立した「地域市民社会」をめざします。

◆ 基金の事業・活動

かながわ生き活き市民基金の中心事業は、市民による寄付造成とこれを財源とした助成を通じた市民活動・事業への支援です。11,000 人を超える意思ある生活クラブ組合員の月 100 円寄付を基本財源とした「福祉たすけあい助成」を中心に、個人や団体・企業からの寄付を助成金の原資とし、寄付者オリジナルの助成プログラムを作る「オーダーメイド助成プログラム」、格差・貧困が広がる中、様々な困難に直面する子どもたちへのサポート活動を応援する「子どもの貧困に立ち向かう市民活動応援助成」などに取り組んでいます。

助成事業を中心に、研修セミナー事業、相談・助言事業、広報発行事業を行っています。



生活クラブ・ソーシャルインクルーシブ助成

『生活クラブ・ソーシャルインクルーシブ助成（第2期）』では生活クラブが取り組んだ『生活困窮者カンパ』による寄付をもとに、生活クラブ生活協同組合とかながわ生き生き市民基金が連携してつくりあげたオーダーメイド助成プログラムです。県内でコロナ禍でのたすけあいを広げる市民団体が2023年4月から9月の半年間に行う事業・活動を対象に、81団体に総額7,334,151円を助成しました。（1団体当たりの助成上限額10万円）

新型コロナウイルス感染拡大のパンデミックが私たちの社会を襲って2年以上が経ち、今なお経済、教育、交流などの人々の暮らしに大きな影響を与えています。特に子ども、一人住まいの高齢者、障害や病気を持っている方などの孤立や生活困窮の問題は、公共政策・制度では十分な対応ができていないことが社会的課題となっています。

一方、コロナ禍で格差・貧困・孤立という社会危機が深まる中、市民が市民を支援する活動・事業は県内各地で広がりを見せました。新規団体の設立や、活動を休止していた団体にも感染の状況を見ながら再開する動きが見られ、課題解決に取り組む市民の意欲的な活動は力強さを増しています。様々な市民活動の実践を通して、分かちあい・ささえあいという市民文化がコロナ禍で人の心をとらえ、今なおコロナ禍で孤立や困窮状態にある社会的弱者に対する支援活動、市民が市民を支える活動がさらに豊かに広がっていくことに、今後も期待が高まります。

＜生活クラブ・ソーシャルインクルーシブ助成 助成団体活動別分類＞

助成団体活動分野	助成団体数
子ども食堂・地域食堂	28 団体
フードバンク活動	6 団体
無料学習支援	9 団体
子育て世代支援、居場所活動	17 団体
相談事業、高齢者・障がい者支援、被災地支援	16 団体



選考委員（敬称略）

委員長	手塚 明美	一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ理事長	鈴木澄江
副委員長	篠崎 みさ子	生活クラブ神奈川理事長	横浜北生活クラブ生協理事
	田中 夏子	イタリア協同組合研究者/ 農業者	横井 美奈子
	川岸 卓哉	弁護士/（特非）原発ゼロ市民共同かわさき発電所理事長	横浜みなみ生活クラブ生協理事
	友澤 ゆみこ	（特非）ピッピー・親子サポートネット理事長	河野 里美
	小田 鈴子	元逗子市副市長/元逗子市議	かわさき生活クラブ生協常務理事
	高村 文子	三浦市民交流センター ニナイテ センター長	大原 芳子
	伊藤 保子	元（特非）さくらんぼ理事長	さがみ生活クラブ生協理事
	中村 園子	湘南生活クラブ生協理事	

お互いさまのたすけあいが息づく地域づくりを共に進めていきましょう。

2023 年 3 月

選考委員会副委員長 篠崎 みさ子

昨年に引き続き、分かちあい、支えあいを広げる市民活動を応援するために組合員にカンパを呼びかけ、おおぜいの組合員からの多くの寄付がありました。

格差・貧困・孤立が拡大している今、地域でのお互いさまのたすけあいを担う活動が広がっています。社会の問題を自分事として地域で活動している市民団体は、生活困窮者支援、子育て支援、居場所など様々な問題に市民によるお互いさまのたすけあいの活動を実践しています。その多くの市民活動に生活クラブの組合員からのカンパで支援する「生活クラブ・インクルーシブ助成基金」は、3月8日の選考部会と合同で合同選考委員会が開催され審査がおこなわれ、81団体7,334,151円の助成が決定しました。選考助成団体の選考に向けては、経験豊かな有識者による選考委員会と組合員リーダーが参加する選考部会との合同選考委員会で、それぞれの活動の視点からの意見を出し合い審査がおこなわれました。3月11日の生き生き市民基金理事会で承認されました。助成団体は、子ども食堂・地域食堂（パントリー活動含）、フードバンク活動、学習支援、居場所活動、障がい者支援・難病・がん患者支援、子育て支援、高齢者支援、相談事業、被災地支援など多岐にわたっています。当事者の困りごとに寄り添う活動や、さまざまなつながりやネットワーク、他団体との連携などが活動の実践から、さらに生まれていました。インクルーシブ助成を受けることで、活動の持続性や広がりにつながってほしいと思いますし、お互いさまのたすけあいが息づく地域づくりを共に進めていければと思います。



（公益財団かながわ生き生き市民基金理事、生活クラブ生活協同組合 理事長）

木村亭(厚木市) 代表 木村由利子

助成金額 60,000円

★助成した事業・活動

- ・機能維持のための健康体操・家庭内の不要品のリメイク
画像鑑賞やミニカラオケ・手作り作品展示会見学・健康に
対する情報収集
- ・交通費、通信費、材料費

★団体紹介

設立年月

2021年1月

団体の目的・活動内容

閉じこもり防止、現状の機能維持のためのコミュニケー
ション作り・体操・談話・折り紙

ouTube鑑賞による情報収集 ・外出にの生活情報収集

団体情報

住所: 〒243-0204 厚木市鳶尾 5-11-13

Mail: sejinsiki30@gmail.com

助成をうけて...の思い・メッセージ

2022年4～9月に初回の助成を受け2023年4～9月も
引き続き助成を受けられる事に社会的意義を強く意
識し、今後も健康維持・機能維持・生活力向上の情
報提供の場として、得意分野を披露してもらえるよう
な場としても、継続していきたいです。



たすけあい(小田原市) 代表 太田実

助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

- ・生活困窮者(失業者、ひとり親家庭、障がい者など)に会
員が感染防止対策を行って公民館で食品、身の回りの品
などを仕分けして月1回、配達し、配達の際に孤独死、孤立
死を防止するための見守り活動も行う。
- ・食材購入費、交通費

★団体紹介

設立年月

2019年4月15日

団体の目的・活動内容

困っている人を助けること

病気や失業で生活できない。死んでしまうかも！

そんな困っている人にわずかですが食べ物などをお渡し
する。

団体情報

住所: 〒 小田原市4-5-40

TEL: 080-6587-3003

Mail: ootam242@gmail.com

助成をうけて...の思い・メッセージ

貴重な財源を原資に助成していただき、誠にありが
とうございます。

助成を受けて、ひとり親家庭や年金生活者や障がい
者、またコロナ過で失職している方などの生活困窮
者に対し、缶詰やパンやカップ麺やレトルト食品や
飲料、お菓子などを提供することができ、大変ありが
たいです。

提供した方からも、「たすけあいの無料食品を頂け
何とか生活できています。」といった切実な声を頂い
ており、微力ですが継続してゆきたいと考えておりま
す。



特定非営利活動法人 RCB大口夢 (横浜市)
理事長 平田 誠
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

地域食堂事業

安心・安全で栄養満点な食事を生活困窮者に提供する

★団体紹介

設立年月

2016年10月

団体の目的・活動内容

地域食堂事業を通して広く健康な食生活を伝える
困窮するひとり親にフードパントリーや学習支援事業を優先的に提供する。健全な家庭環境維持を目指す

団体情報

住所: 〒221-0002 横浜市神奈川区大口通17-2

TEL: 045-642-8109

Mail: info@ooguchiyume.com

URL: https://ooguchiyume.com/

助成をうけて...の思い・メッセージ

この度は助成いただき、心より感謝申し上げます。
弊法人は衛生管理・消防許可を取った食のプロが経営する料理店が連携して安心・安全な料理を安価に提供することで、子どもをはじめとした地域住民の健康増進と親の料理に係る家事負担軽減を目指しています。現在コロナ禍や物価高により、利用者だけではなく地域食堂の開催店舗も苦しい立場に置かれております。しかし、私たちは子どもが『美味しい』を感じて元気になること・保護者の負担を減らすことが間接的でも家庭を穏やかな場にすると思っており、現在も地域食堂を継続しております。今後は子どもたちに『美味しい』だけではなく、学ぶことが『楽しい』と思ってもらえる学習支援事業にも力を入れていき、保護者と地域と一緒に子どもを育てるという意識を持って食事・学習の両面から地域の子どものためにより手厚いサポートを行っていきたくと考えております。



ぱくぱく食堂 (綾瀬市) 代表 斎藤 輝美
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

生活困窮者への食料支援

★団体紹介

設立年月

2017年10月

団体の目的・活動内容

子どもたちが幸せに生きられる地域づくりを目指して、子どもとお母さんたちのために活動している団体です。月2回、食堂を開催していましたが、現在はコロナ禍のため、食料を必要とされているお母さんと子どもたちなどに食料を無償で提供している

団体情報

TEL: 080-3721-8989

URL: shokudopakupaku@gmail.com

助成をうけて...の思い・メッセージ

2022年後半から食料品の値上げが続き、寄付品では不足している食料品を買い足す金額が増え始めました。基本セット以外に調味料等を配布もしていましたが、必要とされている方も増えてきています。また、乳児の主食である粉ミルクも配布には欠かせないものとなりました。回を重ね受け取りに来る方と話しをすることが重なり、必要とされている食料品が明確になることもあり、次回はそれを準備しておきたいと思うことが多々あります。助成金を活用させていただくことで、必要とされている方に必要な品を準備しておくことができます。受け取りに来る方々の少しでもお役に立てるよう、いただいた助成金を大切に且つ有効に使わせていただきます。ありがとうございます。



子育ての輪 Lei

(中井町・山北町)

代表 海野 美和

助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

幼児、小学生、中学生、高校生、親を対象とした
コミュニティー食堂事業(子ども食堂)

★団体紹介

設立年月

2017年3月

団体の目的・活動内容

子育て世代が中心となり、未病・防災をテーマに掲げ、地域で活動する団体、個人に対して、子育て環境促進につながる活動の支援事業を行い、生涯学習の推進と心身の健全なる発達に寄与することを目的とします。

団体情報

住所: 県足柄上郡中井町

TEL: 080-2047-6633 (留守電になっています。)

Mail: Kosodatenowa_lei@yahoo.co.jp

U R L: [https://kosodatenowa.wixsite.com/](https://kosodatenowa.wixsite.com/kosodatenowa-lei)

kosodatenowa-lei

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナウイルス禍より活動が思うようにできず、フードパントリー・配食形式にて対応していたところから回復傾向に向け対面形式を再開し、会える喜びを感じながら開催していきました。子育て世代が助け合い・支え合える地域作りを育むことで、孤立することなく安心してお腹いっぱい食事をできる場の提供に心掛けていきました。この度の助成金は、食材などの運搬費や保管場所の借用料・場所代などに充てさせていただいております。皆様が支え合い・助け合える地域作りを全力で取り組んでいき、継続に力を注いでいきたいと思っております。



幸町子ども食堂おいしいね (茅ヶ崎市)

代表 金丸 知奈

助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

一人親家庭、非課税世帯等に
タンパク質豊富なお弁当の提供

★団体紹介

設立年月

2019年6月

団体の目的・活動内容

こどもが地域の中で安心してご飯を食べることができる場所を考え、スナックを借り、誰が来てもいいこども食堂を開始。2020年3月よりコロナの影響で食堂を休止。食材とテイクアウト弁当配布に切り替え、ひとり親・病氣・コロナ苦・生活困窮な家庭に支援を行っている。

団体情報

住所: 茅ヶ崎市東海岸南1-4-7 金丸宅気付

TEL: 080-4374-0617

Mail: saiwaikodomo2@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

昨年度はまだコロナが落ち着かないことを見越し、食堂の再開は難しいと考え、地域の野菜市場及び八百屋と連携し、こども食堂に登録していただいている世帯に毎月旬の野菜や常備野菜セットを注文し、弁当とともに配布しました。コロナ禍、家で過ごすことが多い家庭ではいつも米や野菜があれば凌ぐことができると考えました。寄付された米や物品に加え、地域の八百屋からの野菜の調達をし、こども食堂登録世帯へ支援することで地域も循環すると思えました。そんな中、助成金をいただき、野菜や米などの常備品をひとり親家庭や困窮家庭に配布でき大変喜んでいただきました。ありがとうございました。



駒岡 丘の上こども食堂（鶴見区内）
代表 七田 直樹
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂事業

貧困状況にある子供を地域で支える仕組みの構築と行政との協働により、生活困窮者救済や子育て家庭、独居老人等の支援を行う

★団体紹介

設立年月

2016年4月

団体の目的・活動内容

こどもの貧困対策、地域の居場所の創生・提供、近隣の独居老人の支援を目途としたこども食堂の運営、フードパントリー等の活動

団体情報

住所：横浜市鶴見区駒岡4-28-5

TEL: 045-571-0035

URL: <http://komaoka-cc.com>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ感染者数も減少傾向にある中、今しばらくは感染対策を緩めることなく、参加者の安全第一を基本に活動の継続を考えています。諸物価高騰で日常生活に支障をきたしている方のご参加も増えている様なので、より期目の細かいサポートが実施できるように、更に工夫して活動をより一層有効で効果のあるものにしていく予定です。



こひつじ食堂（保土ヶ谷区）

代表 廣瀬 奈都子
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂の役割は大きく二つあり、一つは食支援、もう一つは居場所づくりであると考えます。コロナ禍にあって「関係の貧困」に陥っている人、特に子ども達の為の安心できる居場所づくりをすることを大きな目的とし、暖かい食事を通じた支援をする

★団体紹介

設立年月

2022年12月

団体の目的・活動内容

- ・食を通じた子どもの安心できる居場所づくり。
- ・子育て支援
- ・困難を抱える子ども、親子への気づき、見守り。

団体情報

住所：〒240-0014

横浜市保土ヶ谷区霞台8-41カトリック保土ヶ谷教会内

Mail: kohitsujishokudou.2022@gmail.com

URL: https://www.instagram.com/kohituji_me_me/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちこひつじ食堂は、「ひとりぼっちからの解放。おいしい、暖かいご飯で、おなかと心を暖める。」を基本理念とし、2023年1月より子どもを中心とした地域食堂をスタートさせました。おかげさまで4月で4回目を迎え、50食の美味しく優しいお弁当を毎回完配しています。毎回来てくれる小学生も増え、地域の中でより認知されてきている事を感じています。自治会の皆様にも応援を頂き、地域でこひつじ食堂を盛り上げていこうと支えてくださっている事も、このような利用者の広がりに繋がっていると思います。「誰もとこぼされない地域づくり」の為に、こひつじ食堂が小さくてもその役割を担って行けるよう、スタッフ一同、地道に、そして楽しみながら活動していきたいと思えます。



NPO法人メダカのお弁当（相模原市）
代表 鈴木 雄大
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

平日毎朝手作りのお弁当を無料提供する
事情により取りに来れない家庭へ配達する

★団体紹介

設立年月
2022年11月

団体の目的・活動内容

地域の子供達と子育て世帯に無償でお弁当の提供
仕事と育児、家事に忙しい保護者の支えとなる活動

団体情報

住所: 相模原市中央区相模原2-12-21
TEL: 042-813-3974
Mail: main@keisho.sakura.ne.jp
URL: <https://medakabento.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

設立より1年が経ち、活動当初はここまで活動が広がるとは想像もしていませんでした。お弁当の提供数は平均17食を超え多い日では30食を提供するひもあります。活動開始から累計で3,000食を提供してきました。おおぜいの方に必要とされていると身が引き締まる思いです。また対面式の「リアル・メダカの食堂」や食材無料お渡し会「メダカのパントリー」もそれぞれ月1回の開催を行い、さらにはメダカのお弁当基金「子育て文化活動支援金」も創設しました。今秋11/4(土)には相模原市内の子ども食堂や無料学習支援団体の課題を語る「さがみはら子どもの居場所サミット2023」を開催します。すべて皆様方のあたたかい助成金により当法人の活動を支えてくださっているからです。有難うございます。大切にお届けいたします。



フードパントリーえんむすび（厚木市）
代表 毛木 宏美
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

フードパントリーと子育て広場の開催

★団体紹介

設立年月
2022年4月

団体の目的・活動内容

＜活動目的＞

【1】困窮世帯への支援 【2】子どもの貧困の察知
【3】子育てを孤独にしない 【4】フードロスの削減

＜活動内容＞

厚木市在住および近郊にお住まいの子育て中のひとり親世帯を対象に、以下の事業を行う

【1】食品を確保する事業 【2】フードパントリー活動での食品類の提供事業【3】親子の居場所づくり 【4】地域との連携強化（支援場所の拡充・繋がる場所の確保）

団体情報

住所: 〒243-0806 厚木市依知2-32-9
TEL: 090-4742-9337
Mail: enmusubiiii@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私どもは月に一度、子育て中のひとり親世帯の方を対象に、食品支援と居場所づくりを行っております。立上げ当初は8世帯ほどの登録者数でしたが、約一年経過し現在は60世帯ほどになりました。食品配布だけでなく、お子さんが遊べるスペースや催しを行い（過去にお菓子釣りやくじ引き、輪投げなどを行いました）、お子さんが笑って保護者の方がリラックスできる空間作りを心掛けています。おかげさまで各所に足を運んだりSNSを活用したり等で食品確保はできているものの、運営に伴う備品購入や運搬費、スタッフの交通費など、食品を支援するための外側の資金確保が不十分であり、すべてボランティアの持ち出しで運営している状況です。いただいた助成金は、運営基盤を固め地域に根付く活動とするための体制作りと、活動周知を目的としたパンフレット制作費に使わせていただきます。



いとしのエリーズ (稗原小学校学区)

代表 小林 貴大

助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

こども食堂。子どもを中心とした地域の人たち(大人も含む)に、食事や居場所を提供する活動をしています

★団体紹介

設立年月

2021年10月

団体の目的・活動内容

こども食堂を通して子どもを中心とした地域の人たちに、食事や居場所を提供する活動をしています

団体情報

住所: 川崎市宮前区菅生ヶ丘23-6エリーズカフェ

TEL: 070-9003-1026

Mail: eriiis.cafe@gmail.com

U R L: <https://www.instagram.com/eriiis.cafe/>

助成をうけて...の思い・メッセージ

こども食堂を通して子どもを中心とした地域の人たちに、食事や居場所を提供する活動をしています。最初は50食前後の提供だったのが、どんどん増えて、今では100食を超えるようになり200食に迫った時もありました。子どもたちが、受付や、色々なお手伝いをしてくれてとても助かっています。学生ボランティアのお兄さんお姉さんと公園で遊んだり、お話したり、「なんかお祭りみたいで楽しい!」と言ってくれた子もいます。また、一か月前から次のこども食堂を楽しみにしている、こどもの学年関係なく遊んでいる雰囲気もいい、などの声も聞こえてきて、とても嬉しく思いました。また、障害のある方にも参加していただき、障害の有無も年代も関係なく交流できる機会になってきています。こども食堂を始めて、まだ1年足らずですが、子どもたちや地域の方々をはじめ、助成金のおかげで活動を楽しみ続けさせてもらっています。



ゆがわら・おたすけ隊 (湯河原町、真鶴町)

代表 巻上文子、川上眞智子

助成金額 54,000円

★助成した事業・活動

湯河原、真鶴町在住の生活困窮者や片親家庭に年4回食品等を配布するフードシェアを開催する。にこにこ食堂(仮称)を試験的に開催する

★団体紹介

設立年月

2021年4月

団体の目的・活動内容

目的: 湯河原町、真鶴町でみんなが暮らしやすいまちづくりをめざして活動する。

活動内容: 地域から食品提供、寄付を集めて片親家庭など、必要とする人に配布するフードシェア活動、生活クラブ城下町コモンズと連携した活動、その他の活動

団体情報

U R L: <https://yugawara-foodshare.webnode.jp>

助成をうけて...の思い・メッセージ

私たちゆがわらおたすけ隊は、フードバンクのなかった湯河原・真鶴地域において余剰の食品を募集し、必要な方にお渡しするフードシェアを2021年12月より始めました。手探りではありますが、活動もだんだんと知られるようになり、地元で食品集めの拠点になってくださる仲間たちもふえてきました。利用者の方たちとは顔の見える関係であることを大切に、いつでも困った時に安心して頼ってもらえるようにと願って活動しています。今までボランティアの力でまかなってきたので、なかなか思い切った活動はできませんでした。この度の助成で念願だったにこにこ食堂(フードシェア利用者の方への食事提供)の開催に踏み切ることができました。ここからさらに活動の幅が広がることが期待されます。助成は私たちにとって、大きな励みであり、安定した活動の継続を支えてくれています。ソーシャルインクルージョン助成は心強い私たちのパートナーです。



一般社団法人かながわ地域デザイン協会（綾瀬市）
理事長 丸田 浩明
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

厚木基地のフードバンクを利用した食材を使用した総菜の配布、キッチンカーで調理した食事の提供や支援者からの支援物資の配布を行う

★団体紹介

設立年月

2020年11月

団体の目的・活動内容

- (1) 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業
- (2) 高齢者の福祉の増進を目的とする事業
- (3) 勤労者の福祉の向上を目的とする事業
- (4) 地球環境の保全又は自然環境の保護及び整備を目的とする事業
- (5) 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業
- (6) 地域社会の健全な発展を目的とする事業
- (7) 男女共同参画社会の形成その他のより良い社会の形成の推進を目的とする事業

団体情報

非公開

NPO法人さくらの森・親子サポートネット（大和市）
理事長 伊知地 るみ
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

『しゅくだいの日@わにわに食堂』

- 1) 子どもが放課後集まり、宿題や調理手伝いや遊びなど思い思いに過ごしたあと、みんなでカレーを食べる。

★団体紹介

設立年月

2015年12月

団体の目的・活動内容

保育園の運営・親子のひろば事業・子ども食堂・食支援

団体情報

住所：〒242-0028

大和市桜森3-4-13 桜森スクエアⅢ

TEL: 046-204-7608

Mail: sakurano.mori@iaa.itkeeper.ne.jp

U R L: <https://www.npo-sakuranomori.net/sakuranomori>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私どもかながわ地域デザイン協会は令和2年度よりフードトラック(キッチンカー)を使用し、市内公園を巡回、子ども食堂を開催しております。令和4年12月現在、綾瀬市には5つの子ども食堂がありますが、そのほとんどが共生食堂となっております。その理由のひとつとして、特定されると目立ってしまっていくことが挙げられると考えています。そのような環境の中、私どもが運営する「動く子ども食堂」の存在意義があるのではないかと思います。公園という公の場所で子ども食堂を行うことで、食料、物品を受け取ることが容易くできるような環境を作ることが可能だと考え、現在まで運営を行ってまいりました。現在まで毎月の開催を行うことで認知もされてきたため、この度の助成により継続できることを大変うれしく思います。これからも一人でも多くの子どもたちに配布ができるよう、また子どもたちの居場所が作れるよう継続していきたいと思っています。



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

さくらの森保育園を開園して6年を経た頃、卒園生を含め学齢期の子ども達とつながりたいと思い始めた「わにわに食堂」。コロナ禍に入り、子どもと大人が地域の中で集う事の大切さ、学齢期の地域に開く窓としての役割が必要と感じ、2022年5月に「しゅくだいの日@わにわに食堂」をスタート。また、わにわに食堂を通して見えてきた食支援が必要な家庭を支援するため「フードバンク」も、コロナ過により、ますます必要性が高まっています。助成金により事業実施のための設備・備品等の充実と作業の効率化を図ることができます。今後も子ども達への美味しい食事の提供・癒される居場所づくり・フードバンク登録者への支援に繋げていきたいと思っています。



NPO法人てらこや食堂ラッキーズ（相模原市）
代表理事 関 邦子
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

学習支援と食事支援事業

★団体紹介

設立年月

2019年11月7日

団体の目的・活動内容

相模原市の近隣の子どもを対象に、栄養価の高い食事に加えて、学習支援と、居場所を提供することで、子ども達が夢と希望をもって心身共に成長していける社会の実現に寄与することを目的としています。

団体情報

住所：相模原市南区相模大野6-11-25

報徳二宮神社2階

TEL:090-3788-0462

Mail:tsluckys1@gmail.com

U R L:terakoya-luckys.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

弊所は現在子供16名、学習支援ボランティア15名、食事支援ボランティア15名で活動しております。学習支援と食事を無料で提供して、毎日月～金で開催しています。学習支援の方と、食事作りの方たちの連携プレーでやっておりますが、経費捻出が大きな課題です。この度のご支援は本当に助かります。子ども達は互いに仲良くなって、日がたつに従って成長しているのがよくわかります。ボランティアの人たちも、この活動を通して学ぶことも多く、やりがいを感じながら楽しく活動しています。



川崎朝鮮初級学校 オモニ会（川崎市）
会長 金 美佳
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

川崎朝鮮初級学校の児童・園児たちに給食を提供する

★団体紹介

設立年月

1970年

団体の目的・活動内容

・コロナ過による収益減が主な原因となって少なくなっているオモニ会の一給食を活性化させ、子ども達に暖かくて美味しい民族の味を提供する事。
・一給食を通じて、子ども達が社会との繋がりを感じ、沢山の学びとする事。
・子ども達とオモニ達・オモニ達同士・日本のオモニと在日のオモニ同士の交流を活発にする事。

団体情報

住所：〒210-0833 川崎市川崎区桜本2-43-1

TEL:044-266-3091

Mail:kawasakikorean_s@yahoo.co.jp

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

川崎朝鮮初級学校オモニ会（お母さんの会）は、川崎朝鮮学校に通う子ども達が健やかに育つように、その環境作りに努めています。本校が様々な理由で日本の補助制度から除外される中、学校を維持・運営するための様々な活動を行っています。また、地域の日本の方々に朝鮮学校について理解をしていただく為の活動、地域で行っている様々なイベントへの参加を通して、一緒に作っていく街づくりを心掛けています。環境が変わり今までとは違った困難がありますが、子ども達の為に今年も給食や読み聞かせ等 子ども達の為の活動を積極的に行っていきます。



地域福祉を考える会アゲイン（二宮町）
代表 宮内 春実
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

月1回、家庭的な食事提供を介して、地域の交流の場とする。

★団体紹介

設立年月
2008年10月

団体の目的・活動内容

フードロス、子どもや高齢者の孤食、貧困などの社会状況がある中で、食を通じて多世代の交流の場を作りたいという思いで活動しています。現在は月1回「みんなの食堂」を開いています。

団体情報

住所： 中郡二宮町中里731-3
NPO法人たすけあいワーカーズ内
Mail: kobanaotan.gm@gmail.co (小林直子)
U RL: <https://www.instagram.com/minnanosyokudo/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナの感染がようやく収まってきて、今年4月から月1回「みんなの食堂」を開く目途が立ちました。4/15のメニューは「ちらし寿司と鶏の唐揚げ」で、大人10人子ども10人の参加がありました。調理をする場所として新たに「お弁当のとまと」のキッチンを貸していただけることになり、本格的な厨房で調理するのが初めてで使いやすくメンバー一同喜んでいました。ただ食事場所としては使えないので、しばらくは青空食堂になります。これからは、どうやって私たちの活動を必要とされている地域の方々につなげていけるかが課題です。町内にある広報掲示板など利用し、Instagramでの発信もはじめたばかりで、まだまだフォローが少なく、どれ位の方に届いているのかわかりません。広報の方法も考えていきます。助成金をいただき、安定した運営ができると思います。ありがとうございました。



和KAZUこども食堂（川崎市高津区）
代表 有井 幸弘
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

川崎市高津区にある母子家庭支援施設へ出向いて特製カレーとお菓子の詰め合わせ、ジュースを無料で提供

★団体紹介

設立年月
2022年6月

団体の目的・活動内容

母子家庭および父子家庭の経済的、心理的貧困を無くすことを目的としています。

- (1) 母子家庭支援施設での母子家庭への食事提供および物資支援
- (2) 母子家庭および父子家庭への食事提供および物資支援
- (3) 母子家庭および父子家庭への仕事斡旋

団体情報

TEL: 090-9819-1299
Mail: aripon214@icloud.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

日頃はサラリーマンをしており、週に5日勤務し、合間をぬって活動準備を行い、2か月に1度ではあります。なんとか継続して実施してきております。私は幼少期母子家庭の環境で育ち、周りのご近所さんの支えのもと、今日まで生活してこられた身です。あの頃やっていただいたことを今回は自分がしていく番であり、しっかりと恩返しをしていきたい、活動を開始、継続していている最中です。継続していくことは容易ではなく、時間、お金、熱意とどれも欠くことができない状況の中、こうしてご支援いただくことができることに感謝しております。支援いただいた皆様の思いもせて、食事やお菓子等、こどもたちに喜んでもらえる内容を整え、今年度も継続して活動していきたいと思っています。



木月こどもキッチン（川崎市中原区）
代表 時田 正枝
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

養護施設出身で生活困窮状態にある若者を対象とし、食品支援による生活基盤の確保と健康状態の維持のために食品を送付する。

★団体紹介

設立年月

2017年4月

団体の目的・活動内容

「こどもたちの笑顔のために少しでもできることを」

- 毎月第2月曜日、子どもたちに100食を100円で提供
- ひとり親家庭のご飯会を毎月最終月曜日に開催しています。
- 養護施設出身で生活困窮にある若者へ緊急食品支援の「はらぺこ宅配便」を開催しています。

団体情報

住所：〒211-0025 川崎市中原区木月2-3-15

Mail: kodomokitchen88@gmail.com

URL: <https://sites.google.com/site/kizukikitchen/kizuki-kitchen/>

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

月こどもキッチンはこども食堂として2017年4月に設立しました。現在ではよりサポートを必要としているひとり親家庭への食事提供や養護施設出身者への食品配送もしています。養護施設出身者たちの中には正規雇用には就けない、精神的な不調などで働けないなど様々な理由を抱えて生活に困窮している場合が多い為に対面で食事や食品を渡すことが困難となっています。そのために宅配便という受け渡し方法をとっています。配送費が月にかなりの額となるために今回の助成金を頂けたことは大変にありがたいです。



にのみやこども食堂便・みんなのとまり木（二宮町）
代表 片木 康子
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

町内の学校二宮小学校、一色小学校、山西小学校、二宮中学校、二宮西中学校の児童生徒の希望者に朝ごはんの無料提供

★団体紹介

設立年月

2020年4月

団体の目的・活動内容

朝ごはんキャンペーン事業

団体情報

TEL: 090-3297-2292

Mail: katagi@s5.dion.ne.jp

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

昨年4月から1年間、朝ごはんの大切さを伝える目的で、朝ごはんキャンペーンとして町内小学校2校中学校1校の児童生徒の希望者に朝ごはん（おにぎりから揚げセット）の提供を行いました。授業の始まる前、楽しみになってきているようで、毎回申し込みが増え、「おいしかった。ご馳走様」元気な声を聞きたいと今年度も続けて支援していきます。



チームやどりぎ（横浜市鶴見区）
代表 藤川 祥子
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

横浜市鶴見区佃野町周辺にて、食糧支援を必要とする人、家庭に対して、無料の食品支援を行なう事業

★団体紹介

設立年月
2021年1月

団体の目的・活動内容

地域で支援を必要としながらも、公の支援が行き届いていない人々へ手を差し伸べる手段として、また食品ロスの問題を少しでもなくすために、フードパントリー事業を行なう。

団体情報

住所：〒230-0061
横浜市鶴見区佃野町1-7 深谷ビル202
TEL:090-5309-3243
Mail: teamyadorigi@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちが拠点としている鶴見区佃野町は、昔ながらの古い住宅が多く、近所に公営住宅もあり、外国籍の住人も多いエリアです。しかしながら、参加している方は、バスを乗り継いで遠距離からくる方もいます。パントリーに参加することへの理解が難しいからでしょうか？様々な病気を抱える方にも出会い、後半は、医師の支援を受け医療相談も始めました。1年間続ける中で、お米をもらったので自炊を始めた方がいたり、表情がどんどん明るくなって自分からお話しされる方もいました。わざわざお漬物を作って、「スタッフの皆さんに。」と持ってきて下さる方もいます。月1回のささやかな取り組みですが、誰かを元気にする力にはなっていることを実感できました。資金が全くない団体なので、備品を揃えたり旗や装飾を作るなどのほかにも、いろいろな面で助成金が役に立ちました。



NPO法人地域福祉を考える会（伊勢原市）
理事長 鶴飼 恒雄
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

こども食堂事業。保護者の就労や家計の困窮等により、十分な食事がとれない子どもたちに手作りの食事を安価で提供し、子どもたちの成長にとって大切な「食」を確保し、孤食を解消し、安全をも守る。

★団体紹介

設立年月
1992年4月

団体の目的・活動内容

高齢者・障がい者・子どもに目を向け、誰もが優しく支え合い、人を孤立させない地域づくりを目標に、福祉の実践活動と学習活動を行う

団体情報

住所：伊勢原市田中256-1-301
TEL:0463-95-6665
Mail: office@tiikifukusi.com
URL: <http://tiikifukusi.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナウイルスも下火となり、日常が戻りつつある状況で、こども食堂や学習支援事業も以前の賑わいを取り戻してきました。「こども食堂」は令和4年度まで1か所でしたが、ニーズの多い地域にもう1か所、令和5年度から開設することが出来ました。「こども食堂天soraキッチン」「朝ごはんこども食堂」もそれぞれ、月1回コロナを恐れずに運営できるようになりました。「学習支援」にも生徒児童が安心して参加できるようになり、この3月も在籍する中学3年生10名全員が希望する高校に進学できました。助成くださった団体や地域の皆様のご支援に感謝、感謝です。



NPO法人ハレルヤ（二宮町）

代表 牧 岳司
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

- ・かながわフードバンクから提供される食料品に加え、助成金で購入した野菜等の配布
- ・夏休みを利用し、地域の子どもたちの居場所と学習支援

★団体紹介

設立年月

2018年10月

団体の目的・活動内容

地域の子どもたちへの居場所作り、生活困窮者への食料支援。夏休み中に地域の子どもたちへのイベントを開催

団体情報

住所：〒259-0124 中郡二宮町山西358-4

TEL: 0463-71-2167

Mail: jecaninomiya@gmail.com

U R L: <https://nycc-jesus.wixsite.com/hallelujah>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちの働きには、支援母体がなく、同じ志を持った有志メンバーによって構成されています。「背伸びはせずに、自分たちのできることを」が合い言葉です。ですから、このような形で私たちの活動にご支援をいただけることは、大きな励みです。物の値段が上昇している中、私たちの食料支援に来られる方々も増加傾向にあり、せつかく来られても物品を提供できないことも起こっています。少しでも、生活困窮者の方々への支援をできればと願っております。また、今年度も夏休みを利用し、地域の子どもたちが楽しめるイベントを企画したいと思っています。昨年好評だったクワガタブトムシの集会や大学生による無料塾を開催したいと思っています。



EJ3（横浜市） 代表 常森 裕介
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂（食事の提供及び食料配布）

★団体紹介

設立年月

2021年8月

団体の目的・活動内容

子ども食堂（食事の提供及び食料配布）

0歳～中学生の子どもとその保護者

食堂は毎回15名程度、食料配布は15世帯程度を想定

団体情報

TEL: 090-8981-3701（代表 常森）

Mail: kodomomidori@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

みどり子ども食堂は、コロナ禍で困窮する子育て世帯への支援を一つの目的として始めました。コロナ禍が収束の兆しを見せる一方、物価高で新たな危機が困窮世帯を直撃しています。みどり子ども食堂では、食堂において食事を提供すると同時に、子どもや保護者の方たちが安心して過ごせる場所を提供しています。遊ぶスペースを設けるだけでなく、クリスマスなど季節の行事を実施し、メニューも子どもが楽しめるものを中心に提供しています。同時に、食料配布（フードギフト）を通じて、困窮状態そのものを緩和することを目指しています。今後も食事の提供、居場所づくり、食料配布を通じた困窮対策を柱に、地域の人に支えられ、また地域を支える存在として運営を続けていきます。本助成をはじめとして、ボランティア参加、寄付、食料の寄贈など様々な支援に感謝するとともに、今後も活動を見守ってくださるようお願いします。



こども食堂プロジェクト@やまと（大和市）

代表 永井 圭子

助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

- ・生活上の困難を抱え何らかの支援を必要としている方を対象に、お弁当や物資を提供する
- ・経済的な理由等により、塾に行くことができない中学生を対象とした学習支援

★団体紹介

設立年月

2016年7月

団体の目的・活動内容

「質素であっても心を込めて作った食事の提供を通して、お腹も心も温まる、心地よい居場所をつくりたい」という思いが集まって、神奈川県大和市で開催しているこども食堂です。

団体情報

URL: <https://www.tamameshi.org>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちは、「とにかく思い切ってやってみよう。」「たまにはみんなで飯を食べよう。」「たまめし食堂」の活動を始めました。「解決しないこと」がたくさんあることを認識しつつ、子どもたちの暮らしに寄り添う。子どもたちと親や先生以外の大人たちとの関係（斜めの関係）を結んでいく。「支援する場（解決を目指す場）ではなく、課題に向き合い、関わり続けるための場」としてこの活動を続けています。これまでも、これからも、子どもたちの暮らしの課題に向き合う中で、いろいろな「たまには・・・」が生まれていくかもしれません。助成をいただきまして、ありがとうございました。活動を継続していくために大切にに使わせていただきます。



ドリームセンター（藤沢市）

代表 藤村 良彦

助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

- ①子どもカフェ ②藤沢フードパントリー
- ③デイキャンプ

★団体紹介

設立年月

2005年4月

団体の目的・活動内容

2005年に藤沢市で子ども達の交流の場ができたことで、親睦と子ども達の健康的な成長を目的として活動を開始し、子ども達に月1回夕食を無料で届ける「こどもカフェ」と生活困窮者への食料提供を行っています。

団体情報

住所: 藤沢市藤沢545-48-101

TEL: 090-1052-1730

Mail: f-olive@d3.dion.ne.jp

URL: <https://my.yoyakul.jp/hp/foodpantry/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

子どもたちへの毎月1回の夕食の提供と、毎月1回の生活困窮者への食料品提供、そして夏休み中の子どもたちへの1週間の昼食を提供することができます。みんなが笑顔になることのできる居場所の提供を目標に、多くのボランティアが活動していますが、ご支援いただけることにより、関わる全ての人たちの励みとなりました。まだまだ私たちの知らないところで苦しんでいる子どもたちが多くいます。外見からはなかなか見分けられないのですが、時間をかけて関わることで見えてくるがたくさんあります。毎月1回の子ども食堂から、毎月1回の食糧無料配布（フードパントリー）、そして夏休み中のデイキャンプ（日帰り）へとつながることで、いま抱えている本当の必要（ニーズ）に応えることができる体制を整えていきたいと思っています。



「あいおい」みんなの食堂（相模原中央区市）
代表 佐藤 純子
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

「おにぎりを作ってたべよう」

おにぎりを作り、作業の時間を互いに持つことで、コミュニケーションの場にする

★団体紹介

設立年月

2017年5月

団体の目的・活動内容

相模原市のなかでも、一番貧困率が高い中央区で生活クラブの組合員を中心に「あいおい」みんなの食堂をはじめました。

団体情報

Facebook「あいおい」みんなの食堂 検索下さい。

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

あいおいみんなの食堂は開催してから7年になりました。コロナがあり、食堂を休止していましたが、無料配布でも多くの人が80名近い人たちが集まり、地域に必要な場所になっています。コロナが明けてゆく時期が近づき、これからの食堂のあり方を原点に戻りスタッフで話し合いを重ねました。「無料配布になってから、たくさんの人たちが集まっているが、地域の子もたちの様子が、食堂をおこなっていたときよりもわからなくなった」「食堂は再開したいが、スタッフの十分な確保ができない」などの問題点がありました。以前から参加型の食堂を目指していたのですが「おにぎり食堂」として再開しはじめました。来場者や子どもたちとおにぎりを作りながら、来場者とともに、食堂を続けていけたらと思います。



満福うえのまち食堂（横浜市）
代表 青木 あゆみ
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

フードパントリー開催による社会的弱者への生活支援活動

★団体紹介

設立年月

2016年3月

団体の目的・活動内容

地域の孤食解消やつながりの生まれる居場所づくり
フードロス削減と、コロナ禍の影響を受けた社会的弱者の支援

団体情報

住所: 横浜市中区上野町2-84 横浜上野町教会
TEL: 045-622-8330(横浜上野町教会)
090-8376-6959(代表: 青木)

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

フードパントリーを始めて3年経ちました。中区こども家庭卒業支援課と連携で、担当者の判断のもと紹介いただいています。UKRAINEから避難されてきたご家庭ともつながりました。利用を卒業された方もいらっしゃいますが、利用者は少しずつ増えており、困窮から抜け出すことの難しさを感じます。



あさみぞみんなのコミュニティ（相模原市南区）
代表 中台 雪恵
助成金額 76,075円

★助成した事業・活動

フードパントリー事業：あさみぞみんなの食堂
居場所事業：あさみぞコミュニティカフェ

★団体紹介

設立年月
2017年8月

団体の目的・活動内容

十分な食事をとれない子供や一人で食事をしている子供、
独居の高齢者への食事支援と異世代交流の場の提供

団体情報

住所：相模原市南区下溝2103-25
TEL：070-8400-0394
Mail：asamizo.community.180701@gmail.com
U R L：https://www.sagami-portal.com/hp/dnt10113/hp/dnt10113/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

フードバンクかながわ様や相模原市農業協同組合様から頂いた食材や日用品のフードパントリーも実施。参加した皆様からは大変喜んでいただきました。コロナ感染状況が下火になったが、このような場所があるととてもありがたいとお声をお寄せいただいています。年間開催チラシを作成し、参加した方々にお渡ししているが、口コミで広がり始めてこられる家、族の方も増えてきています。お弁当の配布に加え、農協さんや農家さんから頂いた野菜、その他フードパントリーも実施大変喜ばれています

あさみぞみんなの食堂開催中

4月30日は「唐揚げ丼」です。
オギノパンもあります。
フードパントリーも同時開催・絵本の提供もあります。

イラストはイメージです。
開催時間：11：30～
無くなり次第終了

大人：500円
子ども：無料
限定50食

写真はイメージです。

主催：あさみぞみんなのコミュニティ 後援：相模原市こども・若者支援課
食材提供：オギノパン様
フードバンクかながわ様
農業協同組合様
市民の方からのフードドライブ品
パルシステムグループ 神奈川様
JA相模原市フードコミュニティ

次回開催予定
(食堂またはお弁当)
・令和5年6月25日
開催時間：11：30
～無くなり次第終了

Facebook ホームページ

連絡先：中台（なかだい）
TEL：07084000394

市民ファンド「ゆめの郷」・こくみん共済Coopの助成を受けています。



フードコミュニティ（相模原市）
代表 中台 博
助成金額 72,500円

★助成した事業・活動

フードパントリー事業：子育て家庭への支援

★団体紹介

設立年月
2016年10月

団体の目的・活動内容

市民や企業・団体様から「お裾分けの精神」で頂いた食材等を、こどもや高齢者対象の食堂及び生活困窮世帯を支援されている団体、無料学習塾・福祉施設、さらに相模原市との協働事業で子育て家庭にお届けすることで、食の格差や食品ロスを削減と同時に、“食”の有効活用により食に循環型社会を構築する活動を行っています。

団体情報

住所：相模原市南区下溝2103-25
TEL：070-4481-4094
Mail：foodcommunity.1001@gmail.com
U R L：https://foodcommunity-sagamihara.amebaownd.com/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

食材の有効活用により、食品ロスを削減し、必要な人々に提供する事で、食による格差を無くし、貧困や飢餓をなくし、人々が安定した食事がとれるよう、日々活動しています。ボランティアスタッフの活動費や、連絡用の携帯電話の通信費、メンバー間のミーティング等に利用するZoomの費用などの充たさせていただきます。



みんなの居場所ようこうだいパプリカ
(相模原市中央区) 代表 岡見 益義
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

子ども食堂

★団体紹介

設立年月

2020年7月

団体の目的・活動内容

「こども食堂」を通し、地域のこども・高齢者・さまざまな家族が食の大切さ、楽しさを味わい、会食前後の遊び・学習といろいろな経験をしてもらい、世代をこえたコミュニケーションの場、居場所を提供することで、こどもたちが地域と関わる環境をつくること。

団体情報

住所: 252-0226 相模原市中央区陽光台
TEL: 080-5177-0757(岡見)

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

昨年から助成をいただき、提供する食数も増え、こどもたちのお手伝いも少しずつ増え、多くのこどもたちの笑顔を見ることができました。ありがとうございます。今年から学習支援の一環として「雑巾づくり」(小学生)を開催しました。これからも地域の方たちに協力してもらい(特に高齢の方たち)、こどもたちとのふれあいの中で、いろいろな体験をしてもらい、みんなの居場所を目指して活動していきたいと思います



一般財団法人平塚YWCA (平塚市)
代表理事 三股 まさ子
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

居場所、学習支援・・・「ワイワイスクール」
・「中高生のサードプレイスふらっと寄るcafe」

★団体紹介

設立年月

1949年10月

団体の目的・活動内容

YWCAは、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、人権や健康や環境が守られる平和な世界の実現に向けて活動する国際NGOです

団体情報

住所: 254-0811 平塚市八重咲町24-31
TEL: 0463-21-1990
Mail: hiratsuka1949ywca@yahoo.co.jp
U R L: <https://www.facebook.com/一般財団法人平塚ywca-110670883761937/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2020年から新事業としてスタートした「YYきつつん」は、平塚YWCAの看板事業になっています。始めた当初は30食の提供でしたが、現在では予約40食、当日受付30食の合計70食を提供しています。去年に引き続き、テイクアウトとイートインを並行して食事を提供しています。当事業が「子どもたちを囲んで、多世代でごはんを食べることを大切にする子ども食堂」を目指している通り、様々な世代の方にご利用いただいています。今年度は、他の事業の参加者や広報や知り合いからの紹介で興味をもたれた方など当法人のことを知らなかった方の利用が増えました。当事業に興味を持った方がボランティアという形で関わってくださる方も増え、利用者の幅が増えます。ますます活気あふれる子ども食堂になりました。いただいた助成金は子ども食堂の食材費や新型コロナウイルス対策のためのアルコールやハンドソープなど、大切に活用させていただきました。助成いただき誠にありがとうございました



医療生協かながわ瞳班（藤沢市北部域）
代表 川本 修三
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

地域食堂
お弁当と食材のテイクアウトと配達事業

★団体紹介

設立年月
2018年11月

団体の目的・活動内容

子どもを含め地域の方が集える場所としての食堂を目指して活動を行っていました。コロナ禍を受け会場での飲食を中止し、配達を含めフードパントリー、テイクアウトを行っています。

団体情報

活動場所： 六会市民の家（藤沢市亀井野838-3）
TEL: 080-3405-3272（川本）
Mail: 6i5en.shokudou@gmail.com
SNS: <https://instagram.com/6i5en.shokudou>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

現在、利用いただいている方は20世帯超、45から50人の方に食材、弁当を届けています。私たちの活動はフードバンクかながわ様、かまくらベーカリー様や個人の方からの食材提供を受け実施しています。年齢層は就学前から86歳の方と幅広く、ご利用の背景も経済的困窮、社会的孤立、DVにて離婚前の親子、現在、高校生になっていますが中学1年生から4人分の食事を作っている方など様々です。全ての方に必要な食材等を用意するのは困難になっており、不足しているものを購入して対応をするようにしています。今後は飲食の再開、企画等も検討する中、利用いただく方の年齢や状況に合わせ地域の方の要求に応えるために助成をいただくことは私たちの活動に欠かせないものになっています。ありがとうございます。



寄付文化の拡がりに皆様のご協力を ～市民基金を支える寄付方法～

「賛助会員」として応援

公益財団法人かながわ生き活き市民基金は、助成事業、研修・セミナー事業、相談・助言事業、広報発行事業の4つの事業を行っています。当財団を継続的に支援してくださる「賛助会員」を募集しています。

【年会費】

- ◆個人会員（1口 1,000円）1口以上
- ◆法人・団体会員（1口10,000円）1口以上

【特典】

- ◆各種報告書の送付（年次報告書、助成団体報告書「福祉たすけあい基金Book」、フォーラム報告書）
- ◆当財団が企画開催するイベントへのご招待等

【お申込み方法】

- ◆ゆうちょ銀行から振込
記号番号 00250-0-72370
ザイ) カナガワイキキシンキキン
- ◆ゆうちょ銀行以外から振り込み
ゆうちょ銀行 店名：〇二九店
口座番号：0072370
ザイ) カナガワイキキシンキキン
※通信欄に「賛助会費」とご記入ください。

「福祉たすけあい基金」への寄付で応援

◆基金の用途

皆様より戴いたご寄付は、「福祉たすけあい基金」の原資として蓄積し、神奈川県内で福祉・たすけあいの市民活動や事業を行う団体・市民グループへの助成金としてお届けいたします。

なお、寄付金の35%は助成等を行うための法人運営費用として大切に使用させていただきます。

◆寄付金額

1年間1口1,200円となります。1口単位でご寄付可能です。

◆お申し込み方法

寄付の方法は、「口座引落(継続)」「口座振込(単年)」(左記、賛助会員と同じ口座)「現金書留」よりご希望の方法をご選択ください。

詳しくはホームページをご参照ください。

税制優遇について

当財団は公益法人です。公益法人への寄付は、税制上の優遇措置が受けられます

個人の方は所得税、住民税が控除の対象となります。

法人の方は1年間の寄付の総額の一定額を、損金に算入することができます。

詳しくは、お近くの税務署等にお問い合わせください。

NPO法人ブラジルsolidario横浜（横浜市）
理事長 斎藤 達也
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

困窮する在日外国人への食糧支援活動

★団体紹介

設立年月

2020年10月

団体の目的・活動内容

横浜は神戸と共に、多くの日本人がブラジルを中心とする南米への移民船の出発地であったことから、ブラジル・南米との強いつながりがあります。こうした地域特性を背景として、ブラジル移民110周年のお祝いイベントを機に、ブラジル・南米にまつわる活動のみならず、多文化理解、多文化共生、多文化社会の促進、友好・連携の進展を支援することを目的として活動しています。

団体情報

住所：横浜市緑区台村町314番地 第一

Mail: brasilsolid秋元ビル2F

TEL: 045-935-1315 arioyokohama@gmail.com

U R L: <https://brasilsolidario.sakura.ne.jp/yokohama/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍の状況が落ち着きを見せ始めていますが、今なお在日外国人の方々の生活は良くなりません。特にシングルマザーの家庭ではお金がなく食料も買えない状況が続いています。また、外国人が日本の生活保護を受けるのはハードルが高く、行政の救いの手が差し伸べられていないのも事実です。そんな方々のために2023年も引き続き食料支援の活動が必要だと考えます。現在食料を届けている先は5か所に増え、活動に参加するメンバーも増えていますので、生活クラブソーシャルインクルージブ助成を受け今後も継続して活動して行こうと思います。よろしくお願いいたします。



NPO法人神奈川フードバンク・プラス
（横須賀、三浦、逗子、横浜） 代表 山田 洋
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

ひとり親家庭等、困窮世帯における子どもに対する食品支援事業

★団体紹介

設立年月

2016年10月

団体の目的・活動内容

今日本では、少ない額の年金で暮さざるを得ない高齢者、子育てに苦慮して収入が上がらないひとり親家庭が増えています。私たちは、こうした方々への食の支援を行い、また無駄に捨てられている食品を再び生かすことで、食品ロス削減に役立ちたいとの思いで活動しています。

団体情報

住所：横須賀市三春町5-21

TEL: 046-827-7050

Mail: kfoodbankp@gmail.com

U R L: <http://foodbankplus-kanagawa.org>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

今回、助成金を頂きありがとうございました。助成申請事業の「ひとり親家庭等の子どもに対する食品支援」につきましては、従来の事業である、コロナ禍による生活困窮世帯、一人暮らし高齢者、子ども食堂、老人クラブ等への食品支援は安定した支援傾向にありますが、ひとり親家庭からの食品支援依頼は昨年10月以降、食料品の高騰や公共料金の値上げがあり、ホームページやメール、電話を通して急増しております。また大家族の外国人世帯からの支援依頼もあります。今回の助成金を活用し、県内食品提供企業への積極的引き取りを行い、食料品の保有増を目指しており、活動の充実化を図って行きます。



NPO法人サテラ（相模原市）
理事長 庄田 浩之
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

生活困窮世帯・子供食堂・高齢者の居場所等に食品を支援

★団体紹介

設立年月
2017年6月

団体の目的・活動内容

一般市民、特に生活困窮者等の方々に対して、生活、住居及び自立の支援に関する事業等を行い、誰もが安心して生活できる社会づくりを目的とし、広く公益に寄与することを目的とする。

団体情報

住所：相模原市中央区上溝1725-3
TEL: 042-813-6363
Mail: info@npo-satella.or.jp
U R L: <http://npo-satella.or.jp>

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍も落ち着いてまいりましたこの時期、やっと仕事も安定してきたと思った矢先に食品価格の高騰による家計の圧迫には、我々の生活も非常に大変な時期ではありますが、困窮されている世帯の方々は我々以上に苦しんでおられます。今回の助成金にてその様な世帯、特にひとり親世帯やお子さんのいらっしゃる世帯を中心に食の支援をし、子供たちの笑顔がいつまでも絶える事の無いように支援してまいります。



フードバンクあつぎ（厚木市）
代表 成瀬 二郎
助成金額 80,000円

★助成した事業・活動

不要な食品・日用品等を回収し、生活困窮者・学生等に配布するフードバンク事業

★団体紹介

設立年月
2019年4月

団体の目的・活動内容

食品ロスの削減と、生活困窮者への支援。
「もったいないをありがとうに変える」活動

団体情報

住所：厚木市中町18-10 1F
TEL: 080-6602-2163
Mail: terawe2548@uqmobile.jp

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

コロナの影響も引き続きある中、昨年秋以降は食材や水光熱費の高騰などあり子育て家庭からの支援依頼が増加傾向にあります。反面、食品流通企業などのフードロス対策が進んでいる様で大手のフードバンクに提供される食品の種類、量がかなり減ってきているように思われます。当団体も提携先からいただけるものが減ってきていて配布する食品が足りない状況が続いている。そんな中で、貴団体からの助成金は大変有難いです。寄付による食品だけでは偏りがあるので助成金で購入し配布を行うことで、少しでもバランスが取れた食事に繋がると考えます。



たかつフードバンクチーム（川崎市高津区）
代表 浅田 美鈴
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

フードドライブ＆フードパントリー

★団体紹介

設立年月

2021年3月

団体の目的・活動内容

フードバンク活動を通じて、地域を豊かにする。川崎医療生協溝ノ口支部、かわさき生活クラブ生協たかつデポ（共済たすけあい委員会）を中心にチームを結成し、ボランティアメンバーを募り活動を行っている

団体情報

Mail: takatsu.depot.unei@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍、物価・光熱費の高騰が続き、生活が苦しい方が増えています。私たちが行っているフードパントリーの配布希望者もどんどん増え、現在はキャンセル待ちの状態です。

こんな状況の中、私たちにできることはなんだろう？と常に考えながら活動を行っています。

私たちだけでは、できる活動にも限界があります。今後も地域の団体と連携をし、地域ぐるみでみんなが豊かに暮らせる地域を目指して活動をしていきたいと思っています。

寄付をしてくださった方々の「気持ち」「思い」を大切にできるように、チーム一丸となって頑張ります。



4/22（土）フードパントリー

配布品の一例です。

中身は多少異なりますのでご了承ください。

CoCoLoの会（逗子市）

代表 吉原 千草
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

無料フード、無料食卓事業

★団体紹介

設立年月

2010年1月

団体の目的・活動内容

不登校支援を柱とし、子どもも大人も「ありのまま」で安心して過ごせる地域を作ります。不登校支援・逗子の移動式無料フード（フードドライブ・フードパントリー）

団体情報

住所: 逗子市沼間1-4-43 キリガヤラボズ1階

TEL: 090-3816-6780

Mail: cocolonokai@gmail.com

U R L: cocolonokai.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

フードドライブ・フードパントリー活動を始めて2年。現在、フードバンクかながわさんのお力をお借りしながらも、地域の中で「もったいない」を「ありがとう」にするためのシステムを構築。（ファミリーマート7店舗、トヨタモビリティ神奈川LOHAS逗子店、公共施設2か所の10か所の食品回収拠点から2週間に1度食品を回収し、フードパントリー拠点へ運び配布）今回のチャレンジは、さらに逗子市内を地域ごとに分けし、さらに小さい地域の中で食品循環を行うものである。（目標市内5拠点）現在行っているフードパントリー活動は、単なる食品の受け渡しではなく、人と人がつながりながら心を豊かにするものである。気持ちに余裕が生まれ安心に包まれた先に、人は「希望」の光を感じる。地域にこのような場所が増え、大人がイキイキすることで子ども達が安心してのびのびと成長できる環境へとつながるものと考えている。



子ども学習支援グループ須賀の寺子屋（平塚市）

代表 大野 文
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

独自教材制作、支援員研修、ホームページ制

★団体紹介

設立年月

2016年12月

団体の目的・活動内容

様々な事情で家庭学習が十分に行いづらく、学習塾等にも通うことが困難な小学生から高校生を対象に、大学生や元教員・地域の大人が学校の宿題や授業の補習等の自主学習を無償で支援にする活動を行っています。学習の喜びと習慣を身につけ、学力向上を目指すことで、将来、夢や希望を持って進学・就職できる青少年の健全な育成を目的に活動しています。

団体情報

住所：平塚市札幌町46-4 大野方

TEL：080-6626-2686（大野）

Mail：sukanoterakoya@gmail.com

U R L：https://sites.google.com/view

/sukanoteragoya

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この度は、生活クラブソーシャルインクルージブ助成金をいただき誠にありがとうございます。

ご支援により、予てより計画してまいりました独自教材の制作を完成することができます。

完成した教材で、支援を必要としている中学生へ、さらに充実した学習支援活動が展開できるようになります。また、今後は他の学習支援団体でも、この教材を利用していただけるようにしたいと考えています。



みんなの居場所ポプケ（相模原市中央区）

代表 武田 恵
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

子どもの居場所、学習支援

★団体紹介

設立年月

2022年4月

団体の目的・活動内容

小中学生の居場所及び学習支援の場としての「みんなのいばしょポプケ」を開催するためのボランティア団体です。スタッフ及びボランティアメンバーによって、おおむね週2～5回の子どものための居場所を開所し、来所する子どもの対応に当たります。小中学生に安心して過ごせる居場所を提供し、学習支援を行うことで、地域の小中学生の健全な成長に寄与することをこの会の目的としています。

団体情報

住所：相模原市中央区相生3-9-23

生活クラブ相模原センター3階

TEL：070-8475-73368

U R L：https://popuke.z-ne.jp/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

社会が様々に分断され、子ども達にも経済格差の影響が及んでいる今日ですが、子ども達が地域のつながりの中でのびのびと育ち、身近な社会と出会ってほしいとの願いをもって昨年4月より「ポプケ」を開設しました。活動を始め1年がたちましたが、予想よりもニーズが多く、多くの子ども達が通ってくる場所となっています。今年度からは、開所日を一日増やし週3回としました。また活動の部屋も増やし、本やコミックの寄付を募って文庫の機能も備えつつあります。貴法人からは昨年度に続いて助成金をいただき、大変感謝です。様々な年代のボランティアさんが関わってくださるようになってきており、子ども達のみならず誰にとっても居心地の良い「いばしょ」となるように、初心忘れずに活動を進めていきたいと思っています。



NPO法人アートキャラバン（伊勢原市）

代表 小山 知美

助成金額 97,000円

★助成した事業・活動

盲学校の体育館にて、芸術家を呼んできて音楽活動の授業を行う

★団体紹介

設立年月

2022年10月

団体の目的・活動内容

私たちNPO法人は、子供、障がい者、高齢者に対して、芸術的教育に関する事業を行い、学校教育やスクールコミュニティ、各種施設に対して、地域と社会の教育文化福祉に寄与することを目的としています。

団体情報

住所：伊勢原市高森3-23-33

Mail: art-c@kagoya.net

URL: <http://artcaravan.1web.jp/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

当団体はまだ、発足し小さく活動を始めたばかりです。助成を受けたのは、この度が初めてでして、大変喜んでおります。この応援を無駄にせず、社会に貢献し、大きく循環する種となります。ありがとうございました。



こもれび塾（相模原市中央区）

代表 高橋 ゆかり

助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

無料学習活動

★団体紹介

設立年月

2002年10月

団体の目的・活動内容

無料学習支援・子どもの居場所

団体情報

住所：西大沼二丁目自治会館

TEL: 090-3069-2835 (代表: 高橋ゆかり)

Mail: komorebijyuku@gmail.ne.jp

URL: <https://www.sagami-portal.com/city/kodomo-ibasyo/archives/6498>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

助成をいただけてとてもありがたいです。まず、足りない鉛筆・消しゴム・定規・コンパス・・・など、学習に必要な文房具を購入しました。筆箱を持ってこない、または、持ってきて必要なものが入っていない児童が多いので、文房具は少々多めに購入しました問題集は、購入しようとしたものが学校販売限定のものでしたので、他の先生と協議しながら選定中です。児童・生徒が9名になり、ボランティア先生も来てくださるようになって、活動が充実しています。ありがとうございます。



親と子の寺子屋ふれあい自遊塾（平塚市）
代表 加藤 啓子
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

子どもの居場所と相談事業

★団体紹介

設立年月

2015年10月

団体の目的・活動内容

年次多発深刻化する子どもの問題の予防軽減・回復を目的として、人とのかかわりあって遊べるボードゲームを活用したワークショップを、親子・仲間と楽しく体験する機会を提供しています。自己主張とゆずり合い、負けた悔しさから立ち直るといった体験と終了後のそれぞれの振り返りによって、自己肯定感や社会性など豊かな心を育てています。

団体情報

TEL: 070-2629-1986

Mail: jiyujyuku.koyurugi@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

団体を立ち上げ8年目に入ります。これまでたくさんの親子にボードゲームを活用した心育でのワークショップを提供してまいりました。地道に順調に積み重ねてきた活動ですが、想定外の新型コロナ感染拡大により中断あるいは大幅な変更せざるを得ない事態となりました。自分たちにできる課題を模索しコロナ下の親子の心のケアに取り組んでいますが、人と距離をとる日々が長かったことによる心への影響は大きいことが予想され、引き続き子どもの心の成長を図る活動が重要と思っています。



ホームスクーリングで輝くみらいタウンプロジェクト
（藤沢市）
代表 小沼 陽子
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

不登校当事者親子が交流する場、情報共有する場の提供

★団体紹介

設立年月

2017年2月

団体の目的・活動内容

「地域みんなで子どもを育てあい、どんな子どもも生きやすい街“優タウン”」を目指して藤沢市で活動しています。具体的には、不登校やホームスクーリングの子ども達が仲間（多世代）とかかわりながら活動する機会や子ども達が地域とつながる機会を作っています。

団体情報

Mail: hsmiraipj@gmail.com

URL: <https://homeschooling-town.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちは『地域みんなで子どもを育てあい、どんな子どもも生きやすい社会』をビジョンにかかげて活動しております。最近では多様な学びの場の重要性を叫ばれることも増え、フリースクール等も増えてきました。しかし、自分に合うフリースクールが見つからないケースも多く、学校へなじめない子供の受け皿は貧弱なままです。学校にいけなくなると教育は家族まかせとなり不登校の親子は孤立しがちで、いまだに命にかかわる深刻な問題となっています。今回、本助成金をいただけたことにより、私たちは不登校やホームスクーリングの子ども達の活動の場をたくさん作ることができ、不登校親子が地域とつながれる機会を増やすことができます。心より感謝申し上げます。



つばき学習会（川崎市）
代表 吉原 崇徳
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

小学生を対象に、幸区社会福祉協議会・多世代交流スペースメロディーココ他で学習支援を実施
居心地のいい学習の場の提供

★団体紹介

設立年月
2017年4月

団体の目的・活動内容
子ども達の学習保障

団体情報

Mail: tubaki-gakusyusitu@outlook.jp
U R L: <https://www.tsubaki-gakushukai.com>



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

「漢字嫌いだったうちの子が、漢字が好きになったんです。」「算数のテストを嫌がっていた子がテストが返ってくるのを楽しみにしているのが信じられないです。」「どちらも最近保護者の方から頂いた言葉です。集団塾や個別指導塾が合わなかったお子さんが、当会の学習室での学習は自分からやろうとする、という声も頂いており、しかも無料で利用できることに大変驚かれています。こうした学習の場を提供できるのは、助成をいただけているからこそです。今後も、子供にとって居心地のよい学習の場を提供できるように精進していきたいと思っています。」



ことばすけっと（川崎市）
代表 佐々木 素眸
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

自分の考え、感情を言葉ににして伝える、相手の言葉に耳を傾けられる場を作る

★団体紹介

設立年月
2022年8月

団体の目的・活動内容

「自分の痛みを見つめ、他者の痛みを想像できる社会」をめざし、誰もが安心・安全に自分の感情について言葉にし、同時に、誰かの同様の言葉に耳を傾ける対話の場をつくります。川崎市幸区にあるコミュニティカフェ「メロディーココ」を会場に、身近な話題や、地域の問題などをテーマに、参加者みんなで話す場を開いています。

団体情報

非公開

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

ことばすけっとは2022年8月に発足し、活動に共感してくれる方々に手助けをしてもらいながら、月に一度対話の場を開いています。活動を開始して間もない段階で、できる範囲の資源を使って運営してきましたが、今回助成をいただけることで、告知用のチラシ印刷やウェブサイトでの情報発信など、周知の範囲を広げていけると考えています。暮らしやすい社会のために、「こんなことをしたい」と動き出す小さな団体にも、助成金申請の門戸を開き、サポートいただけること、大変ありがたく思っています。その資金源が、たすけあいを広げるためのカンパであることもとても心強いです。見えなくても確実に繋がっている皆さんの想いを活かし、ことばすけっとの取り組みを育てていきたいです。



港北ユーステーブル（横浜市港北区）
代表 鈴木 澄江
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

学習支援教室「とことこ」開催
日本語の学習、学校の宿題を応援、日本の生活文化などの体験

★団体紹介

設立年月
2021年2月

団体の目的・活動内容

様々な困難を抱えた子ども・若者の支援を通じて、地域の中に助け合える関係を作っていく。
学習支援、相談事業、多様な人々の交流の場づくり。

団体情報

住所：横浜市港北区綱島東4-6-38
TEL：080-6532-7472
Mail：sumie-sz@outlook.jp

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

活動が続けていく上で大きな励ましをいただきました。2年前に恐る恐るスタートした海外にルーツのある子どものための学習教室はこの2年間で、少しずつ参加者が増え、年齢も国籍もさまざまな小学生や中学生が過ごす場所になっています。子どもたちも、それぞれ成長しました。ここには多様性がある環境が自然とうまれ、時々参加する近所の日本人の小学生やボランティアの大人たちも彼らとの交流を通して学ぶことが多いです。彼らの文化、言語を教えてもらう機会も作り、一方的な支援の場ではないものを目指してこれからもやっていきたいと思っています。ボランティアとしてかかわってくれる人を募集していますので興味のある方はぜひご連絡下さい。



NPO法人 ぜんしん（神奈川県内）
理事長 柳川 涼司
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

不登校・ひきこもり・未就労の状況で悩む親子の居場所提供、自立支援

★団体紹介

設立年月
2011年10月

団体の目的・活動内容

不登校・ひきこもり・未就労の状況で悩む親子に対し、居場所を設け、相談業務や各種支援プログラムを提供することで、不登校やひきこもり等にある当事者親子の自立を支援する。

団体情報

住所：平塚市中堂2-22
TEL：0463-23-1177
Mail：info@zenshinnpo.sakura.ne.jp
URL：https://www.zenshinnpo.org

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

不登校・ひきこもり・未就労の状況で悩む親子に対し、居場所を設け、相談業務や各種支援プログラムを提供することで、不登校やひきこもり等にある当事者親子の自立を支援していきます。連携する諸機関の相談員やボランティアスタッフらと協力しながら、当事者親子とゲーム等による交流をすることで、彼らが元気を取り戻し、希望を持てる場を設けていきます。居場所に参加し、きっかけを掴んだ若者に対して、自立に向け、ステップアップして頂く(心の準備等を)する場にもしていきたいです。



みんなの居場所 れいんぼ〜かふえ（藤沢市）

代表 鈴木 理恵

助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

①登校に関するおしゃべり会 ②子育てひろば ③フリースペース④みんなの食堂 ⑤学用品リユース

★団体紹介

設立年月

2020年11月

団体の目的・活動内容

困りごとを抱えた子どもはもちろん、子育て世代のおとなの声を直接聞ける居場所づくりの必要性を強く感じ、自然なおしゃべりの中から困りごとをこぼしていただき、人と人、人と場所、人と支援をつなぐ架け橋となることを目的としています。

団体情報

TEL: 090-9149-6024

Mail: rainbow.smile.shonan@gmail.com

U R L: [https://www.facebook.com/](https://www.facebook.com/rainbowcafe.for.everyone)

[rainbowcafe.for.everyone](https://www.facebook.com/rainbowcafe.for.everyone)

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

子どもが幸せになるためには、まずおとなが幸せであること。そして、おとなが幸せであるためには、地域が幸せであること・・・そこで、年代問わず、地域のおとな子どもも集える居場所としてスタートいたしました。子育てひろばや子ども食堂の形態を取っていますが、支援する人とされる人を分けるのではなく、お互いが支え合える場、誰もが役割を持ち活躍できる場を目指しています。そうした地域を作るためには、継続することが意味のあることと思いますが、継続には経費と場所、人手という課題があるところ、こうして昨年に引き続き支援していただけたことで、安心して開催することができます。心より感謝し、大切にに使わせていただきます。



青少年育成支援の会（横浜市港北区）

代表 三宅 哲夫

助成金額 46,000円

★助成した事業・活動

NPO法人シロクマと合同で日帰り遠足を行う

★団体紹介

設立年月

2018年4月

団体の目的・活動内容

家庭の事情を問わず、ひとえに学習意欲がある児童に対して、軽食の提供を含めて、学習支援を行う。

団体情報

TEL: 080-3074-7062

Mail: tex.miyake@gmail.com

U R L: <http://www.ne.jp/asahi/shien/gakushu/>

助成を受けて・・・の思い・メッセージ

本会が利用する活動拠点では、昨年9月よりNPO法人シロクマが、児童養護施設を退所した青年の自立支援活動を開始し、社会との繋がりが弱いまま退所年令を迎えた青年たちが集う場となっている。一方、本会が開催する学習支援教室には、地域ケアプラザの窓口を介して訪れるようになった児童や日常生活で注意が必要な児童が参加している。シロクマと本会はたまたま同一の拠点を利用している団体で、それぞれの会の活動に参加する青少年同士には接点がない。これではお互いに気づきも生まれないが、交流する機会があれば、多様な他者に対する新たな視点や考えが芽生えるのではないかとの思いから、合同の市内散策会を企画した。初めての試みであり不安もあるが、頂いた助成金を最大限活用して有意義なイベントにしたい。



子どもひろば「みらい」(鎌倉市)

代表 戸田 美智子

助成金額 76,500円

★助成した事業・活動

地域の大人と子どもと一緒に交流できる居場所

★団体紹介

設立年月

2018年1月

団体の目的・活動内容

地域の大人が地域の子どもたちを見守り、ともに育つことを目的に、大人も子どもも居心地の良い場をつくり、宿題をしたり、トランプや人生ゲームなどで遊んだり、読書、お絵かき、折り紙をするなど自由に過ごせる居場所の提供を行っています。

団体情報

住所: 鎌倉市常盤165-1 鎌倉デポー2階

Mail: kodomohiroba.mirai@gmail.com

助成をうけて...の思い・メッセージ

寄付を募ったり、バザーを行い資金集めをしていますが、今年初めに通帳の残高を見て焦りました。もっと残金があると思っていたのに、「えっこれだけ!」。子どもひろばでは、子どもたちにおやつとお茶を出したり、イベントの時は文房具や材料費もかかります。給食のない時は簡単なお昼も出すなど、子どもたちがおおぜい集まるとそれなりに出費がかかります。スタッフは、全員ボランティアで交通費もすべて自己負担し、会費を出し合いながらの運営ですが、楽しんでいられる子どもたちを見る喜びがあるから継続できています。ボランティアで成り立っている団体は、地域にたくさんあると思います。とくく独りよがりの活動だと思われがちですが、助成金を頂くことで後押しされていると実感でき前向きになります。

このような助成金は、地域のささやかな活動を支えてくれる必要な仕組みだと改めて感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。



アクティブ・ママ (座間市)

代表 若杉 陽子

助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

ひだまりの家居場所事業(子育てサロン、こども食堂、学習支援)

★団体紹介

設立年月

2000年5月



団体の目的・活動内容

現役子育て世代が中心となり、ひだまりの家や座間市公民館を拠点に、子育てサロン、子ども食堂、学習支援など子育て応援活動を行っています。

団体情報

住所: 座間市入谷西2-20-15 ひだまりの家

Mail: active_mama_zama@yahoo.co.jp

URL: <https://active-mama-zama.jimdofree.com/>

助成をうけて...の思い・メッセージ

助成団体として採択していただき本当にありがとうございます。ひだまりの家を居場所として開設してから2023年6月で5年となります。子育てサロンや子ども食堂、座間コモンズさんが開催する3世代カフェなどの活動も定着し、地域の居場所として地域住民の理解・協力が広がっていることを実感しています。特に、毎週行っている学習支援活動には国籍問わず多くの近所の子どもたちの参加があります。中には困難を抱えるとみられる家庭やサポートが必要な子どもたちもあり、地域で居場所を担うことの重要性を実感しています。今後も、市、社協、学校などと連携しながら、「ひだまりがあってよかった」と思ってもらえるような、気軽に行ける地域の居場所としてあり続けたいと考えます。



(特非)ワーカーズコレクティブメロディー
(川崎市幸区、川崎市) 理事長 平野 ひろみ
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

多世代のココ食堂で食事を提供 ふまネット運動

★団体紹介

設立年月

2002年3月

団体の目的・活動内容

自らが持てる知恵と技術と経験を活かし相互扶助の精神に基づいた自己決定・自主管理の働き方を行う非営利市民事業でサービスを提供。保健、医療又は福祉の増進を図る活動。まちづくりの推進を図る活動

団体情報

住所: 川崎市南幸町2-4-2ビクセル川崎101

TEL: 044-533-8308

U R L: Wco-melody@guitar.ocn.ne.jp

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍の時はお弁当にして配布したこともあります。やはり私たちのコンセプトは人と人がつながり顔の見える関係を作り孤立や、分断のない社会をめざしていることから会食で休むことなく実施してきました。数名しか来ない時もありましたが、保育園、幼稚園等地域にチラシ撒きを行ったりしているうちに少しずつ増え、今は子ども、大人を合わせて40人以上の方が来てくださっています。子ども達は食事が終わると絵本のコーナーで楽しそうに読まれています。季節の食材や行事に合わせてメニューを考え、食を通して楽しいひと時を過ごしています。



ダンスルキッズクラブ (川崎市川崎区)
代表 韓 椿花
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

川崎朝鮮初級学校を拠点に月1回をペースに幼児とその保護者を対象にさまざまな行事・イベントを企画
「ふれあい移動動物園」

★団体紹介

設立年月

1994年6月

団体の目的・活動内容

朝鮮半島にルーツをもつ学齢前親子の交流
川崎朝鮮幼稚園を利用して、毎月1回学齢前の親子を対象にした交流行事の開催

団体情報

住所: 〒210-0848 川崎市川崎区小田栄2-3-3

TEL: 090-9463-2966

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

ダンスルキッズは、川崎朝鮮初級学校を拠点とした、学齢前の親子の交流を目的にした団体です。朝鮮半島にルーツを持った親子が楽しく自分の国の文化やことば、その他日本の行事を通して親子の交流の輪を繋げます。毎月1回、朝鮮学校の教室を借りて、親子の楽しいイベント・交流事業を開催しています。昨年まではコロナで定期的な開催が難しかったですが、今年は毎年定期的な教室と季節にあった色々なイベントを通して、親子の楽しい居場所を提供していきたいと思っています。今年は是非、川崎朝鮮初級学校をでの「ふれあい動物園」を開催したいと思います。



ことさんち（横浜市都筑区）

代表 實成 琴美
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

アナログのおもちゃを多数用意し、地域の方々のあそびと交流の場所として[おもちゃの広場]を開催

★団体紹介

設立年月

2022年1月

団体の目的・活動内容

養育里親子・養子縁組親子が同じ境遇の仲間と知り合え集える場・親子であそべ楽しめる場・事情を知っている者へ気軽に子育て相談ができる場の提供。お話や手あそび・イベント・工作やおもちゃの提供。

団体情報

住所：横浜市都筑区茅ヶ崎中央43-16
ミレナリオビル201 『studioREVENIR』スタジオリベニア
TEL: 050-5896-6590
Mail: mail@cototsukuri.com
U R L: <https://cototsukuri.com/coto-sanchi/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

様々な事情があり実親の元で暮らせない子どもたちへの里親制度。養子縁組・養育里親など様々な形の親子がいます。日本でも里親制度が少しずつ浸透しつつありますが、まだまだ体制や環境が整っていないのが実情。そんな中、地元児童相談所の賛同のもと【あそびにおいて[ことさんち]】を開催してきました。この度助成をいただけることとなり、[ことさんち]の活動を広げ安定した場と時間を作ることができます。又、今年度より地域の方々どなたでも『あそび』からつながり楽しいと感じていただけることや親子時間の場所として[あかちゃんの会とおもちゃの広場]を定期開催できることとなりました。今後は、里親制度啓発への活動も増やしつつ、里親子の場所・地域のつながりの場所をさらに広げていきたいと考えています。



無料学習支援 ～学び場～ ここから
(相模原市南区小淵周辺) 代表 小崎 高義
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

- ・タブレット初導入(1台)による令和時代の「スタンダード」教育に即した学習指導の実施
- ・学習サポーター・ボランティアメンバーへの交通費支給の継続

★団体紹介

設立年月

2022年4月

団体の目的・活動内容

子どもたちの未来のために、学びを通じて、心満たされるときを届け、子どもたちに寄り添いつつ学習を支援し、「わかった!」「できた!」の体験を通して、一歩ずつ自信をつけていきます。子どもの居場所、情操教育、体験的学びにつながるイベントを開催します。

団体情報

住所：〒252-0344 相模原市南区小淵5-10-11
クロスロードバプテスト教会内
Mail: manabi.coco@gmail.com
U R L: <https://manabicoco.hp.peraichi.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

学習支援開始から1年が経ち、定期的に通っている小中学生、協力して下さる学習サポーターさんも増え、毎週落ち着いて学習に取り組んでいます。ただ中には、集中が難しいお子さんや勉強に遅れのあるお子さんもおられ、今後、タブレットを導入し学習環境を充実させることで、子どもたちがさらに楽しく、意欲的に学習に向かうことができるのではないかと期待しております。また、スタッフへの交通費支給も継続させていただきます。



NPO法人しえんのまなび舎（平塚市）

代表理事 高梨 聡美

助成金額 98,800円

★助成した事業・活動

発達特性のある子どもの社会体験、就労体験、相談事業（宮松町自治会の回覧板、掲示業務体験。カフェ店員体験調理実習、ワークショップなど）

★団体紹介

設立年月

2019年12月

団体の目的・活動内容

課題をもつ子どもの支援者や保護者に対して、子どもそれぞれに合った支援のヒントを提供する活動に関する事業を行い、子どもたちの健全な育成に寄与することを目的としている。①(子どもの健全育成を図る活動)②保健、医療又は福祉の増進を図る活動③職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動

団体情報

住所：〒254-0014 平塚市四之宮2-24-17

TEL:0463-54-5197(高梨) FAXも同じ

Mail: snpofaren@gmail.com

U R L: https://sienmanabiya.jimdofree.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

発達特性のある生徒にとって、実際に体験して、学んでいくことは、重要です。それは、新しいことを始めることに抵抗があったり、自分なりの解釈をしてしまったり、実際にやってみないと想像ができなかったりするからです。しかし、コロナ禍以降、体験できる場が減ってしまいました。そこで、体験できる場を幅広く作っていきたいです。現在、発達特性のある子どもの将来の就労経験のために宮松町自治会とコラボして、回覧板のセッティングやポスティング、掲示板の貼り替えなどの業務を行っています。そこでは、生徒たちに報酬もお支払いして、働くことについて学ぶ場を設けています。また、年間3回ほどのコミュニティカフェでの店員体験を企画していき、自分自身の自己理解(得意や不得意、配慮事項)をしてほしいと思っています。

一人で食事ができるような体験や、手先を使った手作業などを「まなび&カフェ」として月1回開催していきます。「平塚で行っている活動を横浜でも！」との要望があり、3か月に1度ほど企画しています。頂いた助成金で実現します！



特定非営利活動法人 まちのかぜ

(神奈川県、静岡県)

代表 古賀 智恵美

助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

絵本の読み聞かせやリトミック、親子体操、季節の工作を行い、その後、子育て相談を行う。その後、懇親会として、みんなで一緒に食事をする

★団体紹介

設立年月

2021年1月

団体の目的・活動内容

こどもの教育の支援・応援。子育て支援。フードロス削減

団体情報

住所：〒242-0021 大和市中央7-4-2-101

フローラルコート

TEL:080-5677-4956

Mail: mmachinokaze@gmail.com

U R L: https://colorize2019.wixsite.com/mac

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

この事業は、子育て相談をすることで、保護者がお子さんを理解し、子育ての不安を減らすことが、主な目的です。内容は、お子さん向けには、リトミック、工作、絵本の読み聞かせなど。その様子を見て、お子さんへのアドバイスを保護者にしていきます。対象年齢は、1～6歳ぐらいのお子さんと保護者。なぜ、この会を開こうと思ったかという、今、子供にどう接して、どんな言葉がけをすればよいか、わからず、困っているお母さん、お父さんが多いことが、わかりました。昨年開催したリトミック&子育て相談会時に、参加者からこういう話を聞いてくれたり、アドバイスをしてくれる会を開いてほしいという声が多数ありました。幼児期に発達の遅れや子供の性格、性質がわかると子育ての不安が減り、我が子への愛情が増すことでしょう。この会を通して、子ども同士、保護者同士のコミュニケーションの場にしていきたいと思います。



特定非営利活動法人ぐるーぷ・ちえのわ
(横浜市戸塚区) 理事長 奥山 雅子
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

- ・畑づくりや林内の整備事業 ・自然の中での遊び活動
- ・屋外での調理活動、会食

★団体紹介

設立年月

2022年4月

団体の目的・活動内容

- ・子ども、若者支援事業 ・学習支援、相談活動
- ・地域の広場事業 ・介護予防活動、カフェ運営

団体情報

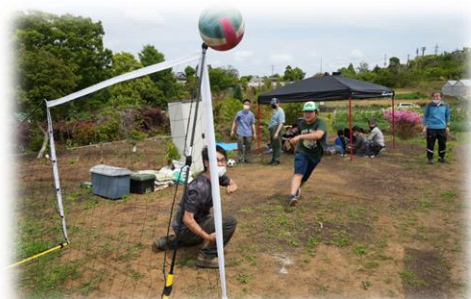
住所: 横浜市戸塚区小雀町1115-1

TEL: 045-410-6218

Mail: chienowa2022@gmail.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍での3年間、室内での調理や会食ができず、それまで行ってきた、障害の有無や年齢差を超えて交流できる余暇活動の場所を作ってきた試みも、中断せざるをえなくなっていました。そこで、昨年度の末から屋外で調理や会食をする形に切り替えて、新しく「あそびのひろば」と名付けて行うことにしました。また、自然に触れ合う機会も増やそうと、当団体が借りている農業用地を使って、畑を耕したり、収穫したり、空き地となっている場所で遊んだりできるようにと、計画を進めてきました。その時に、ソーシャルインクルーシブ助成金のことを知り応募致しました。今年度から毎月1回、土曜日の昼前に集まり、カレー作りをした後、屋外で遊びます。小学生から、社会人まで、ボランティアも含めて、毎回20名余りで行っています。助成金のおかげで、廉価な参加費で、屋外でカレー作りや会食、異年齢集団の交流ができる楽しい場となっています。



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

2017年より地域の居場所活動を行う中で、目の前の子ども達の困りごとに直面し、とにかく今すぐにでも学校に代わる学び場が必要だと動き出した私達。半年の話し合いを経て2022年4月に小さな小さな学び場を開くことが出来ました。ご縁あって、藤沢市の空き家活用マッチング制度第一号のシェアハウスを一室借りられることになり、共有スペースを子ども達の学び場として活用させて頂いています。毎日の学習に必要な道具を置いておくことができ、家庭的な雰囲気の中で安心して過ごせる場を借りられた事で、子ども達の心の安定にもつながっています。助成により支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。



★助成した事業・活動

学校へ行かない選択をした子どもたちの居場所、学びの場を開き子ども達に寄り添い学びたい気持ちの応援する

★団体紹介

設立年月

2017年7月 2022年5月(法人格取得)

団体の目的・活動内容

子どもも大人も育ち合う。地域の中で繋がり学び合える場づくり①暮らし座談会②放課後の居場所③野外探検活動④フードバンク分配活動⑤自由な学びの場の提供

団体情報

住所: 藤沢市弥勒寺1-22-21

TEL: 090-2740-8160

Mail: tetotetote2017@gmail.com

U R L: <https://tetotetote2017.wixsite.com/tetotetote>

NPO法人パオパオの木 (横浜市保土ヶ谷区)
理事長 伊藤 奈美
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

フードパントリー事業・「パオパオ子どもひろば」
生活困窮者へのフードバンクの情報提供

★団体紹介

設立年月

2018年5月

団体の目的・活動内容

子ども達の心身が健やかに育成される為に、地域で助け合える豊かな社会の創造に寄与することを目的とします。子育て中の親子と地域の方々に対して、交流の場を提供する事業を行う

団体情報

住所: 〒240-0025 横浜市保土ヶ谷区狩場町301-56
アルカディア壱番館102

TEL: 045-517-0834

Mail: yokohama@paopaonoki.org

U R L: <http://www.paopaonoki.org>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

コロナ禍が少しずつ収束し、昨年度から、公園イベントや食品配布などで徐々に活動していますが、今年度はようやく通常の「こどもひろば」を再開し、室内での遊びを提供する予定です。助成を受けて、食品配布会を企画しました。私たちの活動を周知する機会となり、また、生活に困っている世帯には優先配布日も設け、地域のたすけあいに貢献することができました。昨年度の公園イベントでは60人位の親子が集い、地域の居場所の大切さを感じました。子どもたちが楽しく安心して過ごせる地域の居場所を応援していただき、励みとなっております。



助成をうけて・・・の思い・メッセージ

新型コロナウイルスの感染拡大以降、「子ども食堂」から移行する形で進めてきた「よんたくんの駄菓子屋さん」ですが、ありがたいことに、回を追うごとに参加者が増え、毎回の駄菓子代が以前よりかかるようになってきました。また、「駄菓子屋さん」の他にも、「ソーラークッカーを作ろう」「クリスマスのビスケットケーキを作ろう」などのイベントを、参加者が材料を持ち帰って家で作ってもらうなど、感染対策に工夫を凝らして再開しましたが、こちらの材料費でも出費がかさんでいます。一方、コロナ禍で引き続き自治会での集金が滞り、地域の方から地区社会福祉協議会への「賛助会費」がコロナ禍前ほど集まらず、財政的に厳しい状況は続いています。そのような中、今回、私たちの活動にご理解をいただき、多大なる助成をいただけることを大変うれしく思います。子どもたちの笑顔と地域での多世代交流の場のために使わせていただきます。ありがとうございます。



瀬谷第四地区社会福祉協議会 (横浜市瀬谷区)
代表 松本 幸一
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

・子どもにも大人にも居心地のいい居場所づくり
・ペットボトルの蓋をお金に見立て、参加者が歩石物と交換する(リサイクルの取組み)

★団体紹介

設立年月

1971年4月

団体の目的・活動内容

地域の住民が関係機関と連携しながら、自分たちの地域の「福祉の課題」を解決していくための団体
高齢者支援、子育て支援、障がい者支援、ボランティアグループへの支援、見守り活動、人材育成等

団体情報

住所: 〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町51

TEL: 045-364-7498

川崎朝鮮初級学校 アボジ会 (川崎市)
会長 金 貴龍
助成金額 82,171円

★助成した事業・活動

朝鮮学校に通う子ども達への、プログラミング学習、ドローン体験学習事業の提供

★団体紹介

設立年月

1970年4月

団体の目的・活動内容

コロナ過の影響により、予算が不足のため停止されている外部講師を招いて行っている課外活動を企画通り行う
・多様な課外活動を経験させることで、学びを深めること。
・学校清掃や交流会などを通して、児童たちと保護者、保護者どうしのコミュニケーションを深める場を企画し、より良い教育環境を構築していく

団体情報

住所: 〒 210-0833 川崎市川崎区桜本2-43-1

TEL: 044-266-3091

Mail: khwichol@gmail.com

助成をうけて...の思い・メッセージ

川崎朝鮮初級学校アボジ会(父親会)は、川崎朝鮮学校に通う児童園児たちのより良い教育環境整備に努め、学校が行政からの補助制度から省かれるなか、子どもたちに色々な体験や経験ができるように補助することを目的としています。また、オモニ会(母親会)や学校支援団体と一緒に、地域の日本の方々に朝鮮学校について理解をしていただく為の活動、地域で行っている様々なイベントへの参加を通して、多文化共生の一環を担っていこうと心掛けています。今年の活動も、昨年に続き子どもたちの要望を聞きながら、色々な体験を通して心も体も健やかに育つような活動を積極的に行っていきます。



子どもの育ち応援団
(相模原市大島小学校区) 代表 吉澤 肇
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

子どもの居場所(くすのき広場) 食事(くすのき食堂)
学習支援(くすのき学習塾)

★団体紹介

設立年月

2014年5月

団体の目的・活動内容

子どもの居場所づくり

団体情報

住所: 相模原市緑区上九沢4 市営上九沢団地
C棟多目的室

TEL: 042-762-4568

Mail: h451204@yahoo.co.jp

助成をうけて...の思い・メッセージ

子どもの居場所づくりから始まり食堂、学習塾と展開してあつという間の9年が過ぎ10年目を迎えます。スタート当初は相談するところもなく五里霧中の状況でしたが今や相模原市内でも子ども食堂40数か所無料学習塾30数か所仲間がふえて来ました。大いに連携・相談して前進しましょう。地域の子供会や老人クラブ等がなくなり自治会の組織率が大きく下がってきています。然し私どもの子どもの広場には子どもを中心に大勢人が集まるので街づくりの起点になるよう色々企画していきたい。当面中学生、高校生、大学生等若い人達が参加できるようにしていきたい学校訪問などして理解を得て行きます。



寄合所 オレンジカフェ もりや亭
(厚木市荻野地区) 代表 森屋 由美
助成金額 72,900円

★助成した事業・活動

- ・温かい食事の提供(独居高齢者、一人親家庭)
- ・沖縄民謡と三線の演奏

★団体紹介

設立年月
2019年4月

団体の目的・活動内容

高齢者、一人暮らしの高齢者、介護を受けていない高齢の方を主に対象とし、お喋りの場所と安価で食べられる地域食堂を提供。健康チェックや、困り事相談を受け、認知症を早期発見し地域包括支援センターに繋げる活動。

団体情報

住所: 〒243-0204 厚木市鳶尾4-6-15
Mail: yuminosuke1231y@yahoo.ne.jp
Instagram: #もりや亭

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

令和五年度はコロナの影響も薄らいで、やっと笑顔が戻ろうとしています。しかし、高齢化の進んだこの、厚木荻野、鳶尾地区は、食べる場所も少なく、楽しい場所ありません。寄合所の存在がとても重要で、寄合所の開催を心待ちにしている方々が多いのを実感します。お喋りの場所、いい居場所を通して、孤立化を防ぎ、不安を解消し、互いに声を掛け合って、「顔見知りになろう」、という、目的もあります。食を通じて、美味しい物を一緒に食べる事は、笑顔につながります。今回の助成で焼き立てパンの提供や、沖縄の民謡を聴き、みんなで歌って、楽しい会になること、間違いありません。高齢者、お一人暮らし、一人親世帯など地域の皆さんに喜んで頂こうと思います。



特定非営利活動法人ひだまりの森 (横浜市)
代表 林 順子
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

「コミュニケーション力をつける パーソナル講座・スモールグループ講座」の開催

★団体紹介

設立年月
2006年4月

団体の目的・活動内容

設立メンバーは公的機関相談員として親子と関わってきました。悩みがありながらも相談できず孤立した結果 親の精神疾患・虐待・DV等の多岐にわたる問題が生じていることから「無料・匿名の敷居の低い相談」を実施するためNPOを設立しました。相談を通して親支援をするとともに子育ての課題やニーズを社会に発信し、子どもの健全な成長に繋げる活動を目指しています。

団体情報

住所: 横浜市港南区日野南6-19-20(事務局)
TEL: 070-1470-5181(事務局)
045-341-3607(相談室)
Mail: hidamarimori1154@sky.hi-ho.ne.jp
U R L: <http://hidamarinomori10.blog.fc2.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

長期化するコロナ禍において支援の狭間に位置するグレーゾーンの方は、これまで以上に生きづらさが増していると活動を通して感じています。互いの違いを認め合い共に生きることを大切にしたいと、悩みは違っても一緒の場でのしゃべり場・グループ相談を実施してきましたが、日に日に余裕がなくなっている今の社会状況では、生きづらさを抱えている方の安心できる場を別枠で必要と考え、【ゆっくりしゃべり場】を企画し、助成により実施することができました。厳しい状況にある母親の精神的安定を保ち、子どもの生活を守る一助になればと思っています。母親自身が「発達上の偏りがあるようだ」「精神的な病を患っている」といったカミングアウトをする相談が増えていることから、事業名にあえて「生きづらさを抱えている」と表記しました。生きづらさを受容できずに苦しんでいる方がこの事業により一歩踏み出し「きっかけ」になってくださればとの思いも込めています。



特定非営利活動法人FunPlace39
(横浜市・横須賀市) 理事 宮浦 めぐみ
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

身体障害児と知的障害児とその家族を対象とした障害児と水中療育サポート

★団体紹介

設立年月
2020年6月

団体の目的・活動内容

障害児者とその保護者等に対して、パラスポーツ事業を行い福祉の増進に寄与すること及びパラスポーツやイベントを通じて障害児者と健常者との交流を行うことで共生社会の実現に寄与することを目的としています。

団体情報

Mail: funplace39@gmail.com
U R L: https://funplace39.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

東京オリンピックパラリンピックを終え、少しずつ当活動を通じて共生社会が広がっていますが、まだまだ障害者への理解や認知など課題は残されています。特に障害者がスポーツをする環境面で場所・人が足りません。不十分な中ですが、かながわ生き生き市民基金様の応援は、当事者はもちろん、私たちスタッフの大きな力になり今日の安全な支援活動に繋がっております。心より感謝申し上げます。



かながわ県医療的ケア児者家族会～つなぐ～
(神奈川県内)

代表 小山 陽子
助成金額 78,305円

★助成した事業・活動

主に医療的ケア児者・その家族・支援業に従事されている方に対しzoomによるオンラインおしゃべり会や家族写真撮影&リアルおしゃべり会の開催を行う。特に医療的ケア児を授かったばかりの最も孤独で不安な時期、同じような境遇の方と繋がりたいくても、どこに連絡すればいいかわからないという方に、「とりあえず、この『つなぐ』という家族会に連絡すれば、なんとかなる」と思って頂けるよう、グループLINEでの情報発信・交換、定期的なzoom、リアルでの交流会を開催し、また行政に働きかけて対象者を紹介頂けるスキームを作ることを目的とする。

★団体紹介

設立年月
2022年2月

団体の目的・活動内容

医療的ケア児者、その家族、支援業務に従事されている方が繋がっての情報交換、ピアサポートを会の目的とする。

団体情報

Mail: kanagawaikeatunagu202202@gmail.com
U R L: https://www.instagram.com/tunagu_kanagawa/

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

医療的ケア児は全国に2万人、神奈川県には1130人しかいないと言われています。そのため、我が子が医療的ケア児となった時に、同じような境遇の方が周囲にいらっしゃらないことが多く、孤独や不安を長い間、抱えてしまうことが多くあるのが実情です。また福祉制度や医療的ケア情報なども、体系だって教えてもらえる場所が少なく、24時間365日医療的ケアを行いながら、自らそれらを調べることは多大な負担があります。そうした孤独や、ご不安、ご負担を、当会に繋がって頂くことで軽減し、「同じように頑張っている人が身近にいるなら、また明日から医療的ケア児育児を頑張ろう」と思って頂けるよう、まずは当会を幅広く知って頂き、定期的な交流会開催が出来るように、この助成金を大切にに使わせて頂きたいと思っております！



特定非営利活動法人かまくら笑ん座（鎌倉市）
理事長 伊藤 裕美
助成金額 85,500円

★助成した事業・活動

週に1回主要メンバーによるPC相談事業

★団体紹介

設立年月

2013年6月

団体の目的・活動内容

就労継続支援B型事業所。かまくら笑ん座は、鎌倉市を中心とした、発達障害をもつ当事者の家族を対象とした支援活動を親主催で行うことを目的として、発達障害の子を持つ親達が立ち上げた団体です。

団体情報

住所：〒247-0074 鎌倉市城廻423-121

TEL: 0467-33-4083

Mail: enzacafe@kamakura-enza.or.jp

U R L: <https://www.kamakura-enza.or.jp>

助成をうけて...の思い・メッセージ

かまくら笑ん座は、就労継続支援B型事業所にて、障害者本人の支援を中心に行われていますが、法人設立のきっかけとなった「親の会」（障害のある子供たちの親を中心に作られた会）の充実への要望が非常に高く、この助成金をきっかけに定期的な会合及び子供たちへの食事提供をすることができます。ここ最近、利用者の親、他の相談支援事業からの相談が多々あります。障害のあるお子さんたちへの適切な対応が非常に重要であります、対応に疲弊した親が精神的に病んできている方も増加傾向にあります。このような状況を少しでも改善できるように「親の会」を充実し、障害のある子供の親の相談場所・居場所を作ることが急務です。このような活動が広がり、皆が少しでも安心して暮らせるように活動してまいります。



特定非営利活動法人鎌倉はっぴーくらぶ
（鎌倉市） 代表理事 吉原 正人
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

放課後デイサービス

（障がいのある子供たちの放課後活動を有意義に過ごす）

★団体紹介

設立年月

2014年10月

団体の目的・活動内容

障がいのある児・者やご家族に対して障害福祉サービスを提供し、本人や家族が住み慣れた鎌倉地域で継続的に生活できるようサービスを提供している。

団体情報

住所：〒247-0072 鎌倉市岡本2-2-15

セ・カルム鎌倉1F（法人本部）

TEL: 0467-84-8867

Mail: info@happyclub.or.jp

U R L: <http://happyclub.or.jp/>

助成をうけて...の思い・メッセージ

コロナ禍で、障がいのある方々の活動に制約と制限がかかった。マスクが付けることが苦手な方、いろいろな所をなめてしまう、くしゃみをする時に手を当てるのが苦手な人など、新しい生活環境に順応することが難しい3年間でした。できる限りの感染防止対策と努力をして生活していました。放課後等デイサービス（以降「放デイ」とする）は、学校生活のストレスを発散させてから、帰宅するように活動しています。生活介護は、ポスティングや海藻飼料作り、余暇活動などで毎日活動しています。コロナ感染の予防策として、消毒液やマスク、手袋などの支給が無くなり、助成金を利用して、感染予防の備品を購入します。日中一時の事業所では、各施設や事業所での活動を終えて、仕事を頑張った自宅に帰る前にホッと一息つけるようにとサロンの役割の活動を行っています。しかし、活動資金が少ないためにテレビやDVDなどの備品が、かなり年代物を使っていますので、助成金で新調させていただきます。



NPO法人ワーカーズコレクティブ円
(横浜市都筑区) 理事長 網屋 正子
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

介護予防、交流、相談事業
週4日は自由に立ち寄れる居場所事業

★団体紹介

設立年月
1999年10月

団体の目的・活動内容

「歳をとって障害をもっても、住み慣れた街で家族や友人に囲まれて、誇りをもって自分らしき暮らし続けたい…」と理念を掲げて、介護有料老人ホームの入居者へ、入居受入から看取りまでの委託業務を行っていました。

団体情報

住所: 横浜市都筑区中川中央1-37-6
セントラルヴィラ505

TEL: 045-911-8164

Mail: madoka@cap.ocn.ne.jp

助成をうけて…の思い・メッセージ

W.Co設立時から有料老人ホーム入居者への介護を担っていましたが、昨年9月末事業撤退しました。解散せずに円を存続したいと皆で話し合い、8年前に地域事業として、「リフレッシュサロン♡心葉」毎週開催しており、コロナ禍で3年前に中止して以来は細々続けていました。心葉事業を横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業として申請し、4月から行っています。働きたいメンバーは他の介護職を掛け持ち。23年間培ったアクティビティーや介護技術を生かしたいことや自分たちの居場所をと心葉を続けています。他の事業を行うまでは、今までの繰越金を取り崩し、活動継続することはメンバーの総意です。4月の時点からは、W.Co活動に対しての分配金という観念はなくなりました。ですが、4~5時間の活動に対して1,000円の謝金は支払うことは決め、助成金申請も行うことも確認しました。ソーシャルインクルーシブ助成を頂き、心葉開始に合わせて、消耗品(消毒や紙類など)

購入しました。メンバー謝金については見直し、心葉事業がより継続して運営できるようにしていきます



ガーゼ帽子を縫う会 (全国)
代表 吉田 久美
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

がんサバイバーが子ども用ガーゼ帽子作りながら病気と向き合う力をつけ、孤独にならないようにコミュニティを作る。完成したガーゼ帽子は全国の医療機関へ寄附する。

★団体紹介

設立年月
2010年5月

団体の目的・活動内容

がんになっても孤独にならず仲間と繋がる事で「ひとりじゃない」と感じることができるよう、自分らしく病気と向き合えるように、抗がん剤治療の副作用でおこる脱毛時にかぶるガーゼ帽子作りをしながら、がんサバイバー同士のコミュニティ作りをしています。

団体情報

住所: 茅ヶ崎市新栄町13-16-407

TEL: 090-4059-6863

Mail: gazeboushi2010@gmail.com

URL: <https://www.gaze-boushi.com>

助成をうけて…の思い・メッセージ

2010年よりがん患者さんのコミュニティ作りとしてガーゼ帽子を縫う会を立ち上げました。私自身、がんになって漠然とした不安の中で、同じような体験をした仲間との出会いはその後の生活や生き方に大きな影響を与えてくれました。仲間と集い、気持ちの吐露ができる場所はがんサバイバーにとって、とても大切だと感じています。そして病気と向き合っている子どもたちへエールを込めてガーゼ帽子を作ることとはがんになっても社会活動に参加できる喜びを感じることができる大切な活動です。ここ数年、コロナ禍で、ガーゼ帽子の材料費も値上がりし、企業さまからの生地の寄附も難しくなっていたので、継続することの難しさを更に感じていました。今回、頂いた助成金は活動継続のためのガーゼ地や材料費、運搬費、カフェのレンタル費に使わせていただきます。



Café de FUKUSHIMA
(神奈川、福島、宮城) 代表 石川 和宏
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

原発被災地の被災者支援・被災者支援団体の支援
イベント開催 食糧など物資支援

★団体紹介

設立年月
2015年1月

団体の目的・活動内容

11被災地での原発(+津波)被災者支援
1) Café de FUKUSHIMA 原発被災者の交流イベント(物資支援込み) 2) 原発被災者の物資支援 3) 津波被災者の物資支援

団体情報

住所: 〒236-0052 横浜市金沢区富岡西3-14-21
TEL: 045-775-0104 080-9439-2216
Mail: ishikawa216k@gmail.com
U R L: <http://311fukushima.org/>

助成をうけて...の思い・メッセージ

報道でも知らされていますが、原発被災地でボランティア活動(被災者支援)をする団体は激減しています。今や希少種・絶滅危惧種です。原発被災者は、家族が分断し孤立を強いられ、地域社会(隣近所)の支えという日本固有のセーフティーネットワークを断たれたままです。12年経っても変わりありません。しかし、政府(政治)のありようも、新聞テレビなどの報道も、すでに原発災害は、あたかも過去のこととしています。「被災地への移住者が増えた」とか、「帰還困難区域(被曝量年間20ミリシーベルト以上)の除染が進み、住めるようになった」とか、わずかな失地回復を喧伝し、多数の被災者の存在を消しています。Café de FUKUSHIMAは、そのような方々に寄り添い続けます。助成金は、活動の支えになります。また、「被災者支援をサポートしていただけること」も私たちにとって重要です。助けてくださる皆様の思いを、被災地に届けます。



特定非営利活動法人 スペースナナ
(横浜市青葉区) 代表理事 柴田 暁子
助成金額 100,000円

★助成した事業・活動

フードドライブ & パントリー事業

★団体紹介

設立年月
2010年12月

団体の目的・活動内容

だれもが排除されことなく出会い支えあうことができるく
場づくりと情報提供の事業を行い、誰もが安心して暮ら
せる地域社会づくりに貢献する

団体情報

住所: 〒225-0011 横浜市青葉区あざみ野1-21-11
TEL: 045-482-6717
FAX: 045-482-6712
Mail: spacenana@gmail.com
U R L: <http://spacenana.com/>

助成をうけて...の思い・メッセージ

2015年にスタートした「ナナ食堂」がコロナ禍で中止せざるを得ず、その代わりにできることをと、2020年9月から始めました。月1回、ひとり親家庭を中心に、30組くらいのご家庭や支援団体にお届けし、毎月2、3組の新規申し込みがあります。スペースの制約上、大規模な展開は見込めないのですが、店舗で週5日開店しているので、開催日に取りに来られない方や、社協やケアプラザ、学校などから入る緊急の依頼にも対応できること、小規模ゆえに緩やかな見守り機能も果たせることが特徴かと思われます。フードバンクかながわから食料をいただき、あちこちで集めてもらったドライブ品や個人からのご寄付もいただいているのですが、それでも足りずに食品を買い足しに走ることが多いので、今回の助成は本当有難く、皆様のご厚意のお蔭でこの活動をなんとか続けることができ、心から感謝しております。



ひつじの会（川崎市）

代表 斎藤 宜子
助成金額 73,000円

★助成した事業・活動

発達に凹凸がある子についての学びと理解

・居場所づくり ・情報提供や交換 ・地域を巻き込む参加性

★団体紹介

設立年月

2019年7月

団体の目的・活動内容

必要な情報の手に入れ方や、不安をどのように解消したらいいかがもっとわかれば、苦しい思いをしなくても済むのではないかな。もっと関係機関が連携できるネットワークを作れば、誰もが助けてと発信すれば、それを助ける支援作りができるのではないかなと思います、この会を立ち上げました。

団体情報

Mail: hitsujinokai2003@gmail.com

U R L: <https://hitsujinokai.jimdofree.com/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

ひつじの会は月に一度、発達に凹凸がある子どもを持つ保護者が語り合う会です。子育てに不安のある方や、どこに相談していいかわからない方、孤独を感じている方などがほっこり集える会を目指しています。また凹凸の子を育てていくにあたって、知りたいことや学びを深めたいことの勉強会を実施してきました。最近では県立高校のインクルーシブ教育についてや、地域の包括支援センターと連携して障害年金について、思春期の性教育など、聞きたい人や知りたい人に情報が行くように工夫をしました。このたび助成を受けることができ、多くの人に私たちの活動を知ってもらえる機会を得ることができます。より多くの親子が笑顔になることを目指して、活動に励みたいと思います。



特定非営利活動法人DV対策センター

(横浜市青葉区) 代表理事 穂志乃 愛莉
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

エンパワメント講座とお弁当配布

★団体紹介

設立年月

2020年3月



団体の目的・活動内容

すべての女性と子ども達が夢と希望を育んで生きていける社会を目指して、DV・虐待・貧困の連鎖を防ぐ活動を行う。

団体情報

住所: 〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町807-5

TEL: 045-482-3422

Mail: dv.taisaku@gmail.com

U R L: <https://dvtaisaku.jp>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

子ども達に向けてエンパワメント講座を開催し、参加頂いた子ども達とご家族に向けて、夕食のお弁当を配布いたしました。お弁当配布はとても好評で、毎回25食を超えるお申し込みを頂きました。親が仕事で遅くなる子ども達には、居場所(ラフェリーチェ)と一緒に夕食を食べてもらいました。また塩野義製薬の方々をお招きして「感染症対策」の講座を開催いたしました。汚れに見立てたインクを手につけるなどして、手洗いについて詳しく、そして楽しく学ぶことが出来ました。今後も子ども達に必要な支援のプログラムを提供し、夕食のお弁当も引き続き提供していきたいと考えております。



NPO法人ごちゃまぜ（神奈川県内）
代表理事 小野純子
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

オリエンテーション＋6回講座開催

★団体紹介

設立年月

2022年6月

団体の目的・活動内容

自分の好きなことで生きがい・
働きがいを持つための一歩
を踏み出せるように企画など
を開催



団体情報

Mail: gochamazefes2018@gmail.com

U R L: <https://gochamazefes.org/>

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

これまでの活動の中で出会った福祉事業所さんの
端材を使ったアクセサリ作りを通して、障害のある
方、ない方、新たな生きがいを見つけたいと思ってい
る方と交流し、ものづくりとSNS発信で収入を得ること
の第一歩をサポートさせていただきます。必要な方
にお届けできるようがんばります。
お力添えありがとうございました。



NPO法人まんま（横浜市瀬谷区）
理事長 金子 真澄
助成金額 86,400円

★助成した事業・活動

未就学児とその親の相談事業、居場所事業

★団体紹介

設立年月

2006年4月

団体の目的・活動内容

乳幼児および青少年とその親に対して、安心して過ごせる
居場所を提供すること、親と子を支える新しい地域コミュ
ニティーの構築・推進に関する事業を行い、地域の子育て
支援全般の向上と、子供に関わる活動団体のネット
ワークづくりに寄与する



団体情報

住所: 〒246-0031 横浜市瀬谷区瀬谷4-7-19

TEL: 045-303-5393

Mail: manmanchi@r9.dion.ne.jp

U R L: manmanchi.jimdo.com

助成をうけて・・・の思い・メッセージ

私たちは「親子のひろば まんま」を運営する中で、
子どもの発達に不安があっても行政や病院の相談
窓口は敷居が高く相談できない親子が多いこと、地
域で気軽に相談できる場所の必要性を感じながら
日々活動をしてきました。そこで「子どもの育ち相談
日 ぽれぽれ」として子どもの育ちに関する相談日
や勉強会・座談会等の開催を事業化し、瀬谷区発達
障害理解啓発グループ「antmama」や地域の専門的
な他機関と連携しながら、ピア相談員、臨床心理士
によるひろば相談や個別相談など、利用者のニーズ
に沿った支援を行ってきました。この助成を受けるこ
とにより、子どもの育ちに不安を抱える親子が、相談
員とゆっくり信頼関係を築きながら相談できる場「ぽ
れぽれ@ひろば」が継続できることになりました。こう
した活動を通して、障害があってもなくても、お互い
がたすけあい、頼りあいながら、安心して地域で子
育てをしていける居場所のひとつとなっていきたいと
思っています。



(特非)神奈川県中途失聴・難聴者協会
(横浜、川崎除く神奈川県内) 理事長 森 友彦
助成金額 65,000円

★助成した事業・活動

筆談ミニボードの作成する
作り方を覚える。必ず要約筆記をつける。

★団体紹介

設立年月

1980年11月(創立) 2020年4月(法人登記)

団体の目的・活動内容

言葉でも手話でもコミュニケーションが取りにくく、
また見ただけでは障害者と気づかれにくい難聴者の交流
の場提供

団体情報

住所: 〒259-0131

中郡二宮町中里2-23-18 森友彦方(事務局)

TEL: 0463-72-7540(FAXも同番号)

Mail: ft.mori@trad.ocn.ne.jp

U R L: <https://jinnancho.org/>

助成をうけて...の思い・メッセージ

当協会は人生の途中で聞こえにくくなった人、聞こえなくなった人たちが集う、小さなオアシスだと自負しています。職場や家庭、人間関係などの悩みや辛さを共有して、明るく前向きに過ごしていきたい。そんな活動をこれからも続けていくため、まずはより多くの人へ我々の声を届ける第一歩として、今回の助成金で持ち運べるサイズの小さなホワイトボード(ミニボード)の作り方を身につけ、筆談を必要とする人への配布を目指します。一般の難聴者の大多数が、手話ではコミュニケーションが取れません。そんな時便利なのが、簡単に書いたり消したりすることのできるホワイトボードです。このような普段のコミュニケーションを助けてくれるグッズを誰もが気軽に持ち歩いてくれる、そんな未来を夢見て作っていきたいと思っています。



つながるフェス実行委員会 (相模原市)
代表 勝亦 詩子
助成金額 90,000円

★助成した事業・活動

第3回つながるフェス ふたご・みつご and more in さがまち
多胎妊娠・育児をしているママパパ応援&交流イベント開催

★団体紹介

設立年月

2019年7月

団体の目的・活動内容

地域に密着した多胎育児支援

団体情報

Mail: tataifestsunagaru@gmail.com

U R L: tsunagarufes.jimdofree.com

助成をうけて...の思い・メッセージ

私たちは、ふたご・みつごも安心して育児ができる社会に貢献できるよう、地域で活動を行っています。多胎妊娠が分かった時、驚きと喜びの後に来るのは不安です。経験者が身近におらず、子育て情報はたくさんあっても、単胎児を想定したものばかり。多胎育児のイメージが持てぬまま、出産・育児に突入する方は多いです。乳幼児2人以上を同時に世話するのは思った以上に体力が消耗します。精神面での負担も大きいです。二人以上を連れて外出することは難しく、多胎児親は孤立しがちです。多胎育児はパパとママが協力し合うこと、相談先や頼れる先をつくること、社会資源を活用することがとても大事です。2人以上を同時に生み育てるリアルを、当事者はもちろん、地域と社会に理解してもらい、ふたご・みつごも安心して育児ができる環境づくりを実現して参ります。また、イベントが一過性にならないよう、人と地域をつなぐ創意工夫に力を入れ、地域に定着するイベントに育てていきたいと存じます。親子の笑顔が溢れる社会になることが私たちの願いです。





公益財団法人

かながわ生き生き市民基金

Kanagawa Lively Citizens Fund

発行：公益財団法人 かながわ生き生き市民基金

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 6F

Tel : 045-620-9044 Fax : 045-620-9045

Mail : info@lively-citizens-fund.org

URL : <http://www.lively-fund.sakura.ne.jp>

Facebook : <http://www.facebook.com/livelycitizensfund>

発行日：2023 年 10 月 1 日 発行部数：800 部